

2. 調査結果の詳細

(25) 問 19. 意見・感想

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（10代）

10代	男性	宜野湾市	本人が興味あれば参加すると思います
10代	男性	名護市	テレビの字幕とかに追加する
10代	男性	宜野座村	ユーチューブ、TIKTOKなどのSNSを使い、流行の歌をしまくとうばで流して、おもしろいと思ってもらったりして、やりたい、使いたいと思わせることが大事だと思います
10代	男性	うるま市	生活の中で使わないのでどう考えていいかわからないけど、守っていかないといけないとは思う
10代	男性	沖縄市	これからの子供達、若い人達にも、沖縄の島くとうばを忘れないでほしいです
10代	男性	恩納村	子どもに教えて
10代	男性	那覇市	身近で使う機会を増やしたいと思います
10代	男性	読谷村	しまくとうばに触れる機会を増やしていくといいと思います
10代	男性	伊江村	しまくとうばに触れる機会をもっと増やしたら良いと感じました
10代	男性	那覇市	うちなーぐち講座で興味がない人、子供たちがしっかり聞くかといえば、何言っているか、分からなくて話を聞かない人や、頭に入らない人などいると思います。ゲーム感覚で教えたり、ノルマを使って達成したら景品と交換したりして、みんなが興味を持つような企画をした方がより効果的だと思います
10代	男性	豊見城市	僕はしまくとうばをあまり知りません。僕が知っているしまくとうば(方言)は周りの友達を使う、フラーとか汚い言葉ばかりです。だからあまり良い印象がありません。ちゃんと習ったらちゃんとした使い方が出来るでしょう
10代	男性	中城村	しまくとうばが無くならないように若い子達もしまくとうば使えるようになればいいと思います
10代	男性	南城市	SNSなどで発信していくのは、見る人が検索しないと見られない。つまり、はじめから知っている、興味がある人しか見ないので、「しまくとうば」の普及にはあまり効果的ではないと思います。なので、学校教育などのほとんどの人が必ず学ぶものの中で、その頻度を増やすことによって興味を持ってもらうのが良いと思います

10代	女性	うるま市	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育でしまくとうばを学んだ上で、しまくとうばのドラマや劇などを見たりしてさらに理解を深める ・国際通りにあるお店では、しまくとうばを使って接客する ・学生のうちにしまくとうばを使ったコミュニケーションの場を増やす ・しまくとうばは沖縄の魅力の1つであると思うから継承していくべきである
10代	女性	竹富町	単純に、ちゃんと話せる人がほとんどいない。居ても教える気がない。方言わからない人には標準語で話す。普段聞く機会も少なくもう継承は難しいと思います。でも、できる限り残って欲しいと思います
10代	女性	浦添市	最近は本当にしまくとうばを使うことも聞くこともないので、学校で講演会とか開いたら良いと思います
10代	女性	宮古島市	もっと、しまくとうばに触れる機会があればいいなと思います
10代	女性	恩納村	私のように、しまくとうばを喋りたい人はたくさんいると思うので、みんなが喋れるようになるために、地元のおじいちゃん、おばあちゃんと交流したらいいと思います
10代	女性	今帰仁村	「しまくとうば」は是非継承すべきだと思う
10代	女性	那覇市	幼稚園生くらいから学校での取り組みとかをして習っていたら、覚えやすかったと思う。大学になって授業をしているが、全く頭に入らないし覚えられない
10代	女性	読谷村	しまくとうばに触れる機会がもっとあったらいいと思います。イベントなどの特別なものよりも、学校など普段の生活の中で自然に触れられるようなものの方が普及しやすいかなと思いました
10代	女性	西原町	しまくとうばのCMなどしてほしい
10代	女性	糸満市	しまくとうばは、日常的に話していたり聞いていたりすることで自然と覚えていくので友達同士、家庭内で使うのはいいと思いました。学校とかでも講座を開いて、うちなーの子供に教えて文化をなくさない方がいいと思います
10代	女性	南城市	小さい頃から県の文化、地元の文化に触れさせ、興味をもたせるなどして、子供の時から親しみをもたせれば良いと思う
10代		嘉手納町	学校の時間割に入れるなどをする
10代		石垣市	聞き慣れることによって、話す機会が増えると思うので、ラジオ、テレビなどで流す

2. 調査結果の詳細

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（20代）

20代	男性	南城市	アンケートの中にもありましたが、学校で子ども達への教育の実施やSNS等での活動がより効果高めると思いました。それから、ボランティア活動なども、効果が期待できると思いました
20代	男性	豊見城市	私の友達、職場では、ほとんどしまくとうばを使いません。しまくとうばの歌などの普及は、どうでしょうか
20代	男性	伊江村	聞くことはできても使うとなると難しすぎる
20代	男性	中城村	沖縄の方言はきれいな言葉には、聞こえない。必要性を感じない
20代	男性	渡嘉敷村	各集落でも違ったしまくとうばがあるのでそれを踏まえたしまくとうばの普及が大切と思います。また、伝統を守るだけでなく、観光の一部として、経済成長に繋がるものとする為、とても重要と思う
20代	男性	宜野湾市	「しまくとうば」を知る機会があまりに少ないと個人的に感じる
20代	男性	沖縄市	しまくとうばといえば方言。ヤンキーが使うイメージ、もう少しかわいい、やわらかい言葉も使うように出来れば日常的に使う機会が増えると思う
20代	男性	糸満市	講座への参加推奨などは自発的に行動する必要があるので、それよりは、カレンダーの配布やテレビでの発信などの方が自分の意思とは関係なく、触れることになるのでやや普及には繋がると思います
20代	男性	沖縄市	自分のしまくとうばに対してのイメージを考えるいい機会になった
20代	男性	那覇市	若い人に普及するにはTikTokやyoutubeなどの動画コンテンツで発信していく必要があると思います
20代	男性	南城市	始めに、しまくとうばに関するアンケートに回答ができてよかったです。9月18日のしまくとうばの日しか知らなかったのですが、大会や補助金制度があることを知りませんでした。アンケートに答えながら、両親・祖父母としまくとうばの話もできて、興味が深まりました。若者の間でのしまくとうばしか知らなくて、両親や祖父母が使う言葉の意味を聞いた、イベント等に参加して、しまくとうばだけでの会話がしたいと思いました。このような機会をいただき、本当にありがとうございました
20代	女性	豊見城市	普及継承するためにイベントや補助金などを行っていることはこのアンケートで知ることができたが、アンケートがなければこれからもこんな取組を行っていることに気づけませんでした。もっと情報発信したほうがいいと思う。(TVやラジオ、CM、SNSなどを活用して)

20代	女性	沖縄市	高齢者と関わる機会が少ないので、言語習得より先にコミュニケーションをとって、親しみを持つことが先。使い方が分かる以前に関心を持つのが大事だと感じました
20代	女性	南城市	しまくとぅば以外にも言えることですが、やはり身近にそれを実践している人（しまくとぅばを使っている人）がいる、いないの差、環境の違いは大きいと思います。おばあちゃんに「最近の若い人が話す方言はあまりきれいな言葉じゃない」「きれいな言葉を覚えてほしい」という風なことを言われたことがあります。私自身、自分でしまくとぅば（方言）をわかっていないと自負しているのですが、身近に方言を使う人が少なからずいるので、おばあちゃんが言うように、若者の方言と高齢の方が使う方言にはギャップがあると感じます。しまくとぅば（方言）と一言で言っても、地域によって言いまわしなどが大きく異なるので、正直どれがわかって、そしてどのくらい使えて”わかる”と言っていいかわからない感じがあります。必要性を感じさせるというのはすごく難しいことだと思いますが、でも自分が生まれた場所で生まれた言葉、しまくとぅばというアイデンティティ継承していくことは大切だと思います。若者の一人として感じるのはしまくとぅばと私たちの間のキョリなので、やはりそのキョリを縮めていくこと、「イイネ」→「もっと知りたい」→「学びたい」、あわよくば「使いたい」に繋げられるようなしまくとぅばの魅力はどうアピールしていくか、アプローチの仕方が鍵になるのではないかと思います
20代	女性	大宜味村	県内でも「しまくとぅば」は違いがあるので、それをどうわけて話しをするのかがわからないので、会話がしづらい
20代	女性	那覇市	話せる家族がいて、積極的に家庭内で使っていないと継承はなかなか難しいと思います。（じゅん選手がいい例）英語でも同じように身近で聞いて育つ環境がないといけない。今話せる人が他者に方言をあまり使わない、使えない環境（世間体）なのが一番もったいないこと。たまに何がなんでも方言しかしゃべらないおじーおばーがいるけどそのまわりの人はいやでも覚えると思います
20代	女性	八重瀬町	介護職、高齢者サービスに学生のアルバイト支援や、若者を雇用することがしまくとぅばに触れる機会も増えるし、現実的なのかなと思いました
20代	女性	那覇市	学校の授業で、軽く取り上げてみるといいと思います

2. 調査結果の詳細

20代	女性	浦添市	①お子さんには、子供向けテレビ番組、保育園や行事で「しまくとうば」の存在を楽しみながら見近に感じてもらう。 ②若年層はSNSを利用し、ショート動画などで再生回数を増やす。ネットワークさえあれば、場所を問わず、好きなタイミングで見ることが可能
20代	女性	糸満市	やらされている感（ムリやり学ばされている）をなくして楽しく学べば自然と普及するかもしれない。友達は話せるおばあちやんと一緒に暮らしているから学ばなくても自然に分かるし話せるから
20代	女性	那覇市	ウチナーヤマトグチとしまくとうばの違いがよく理解できていない若い世代が多いと思う。アンケートを取る際に、その違いを知っているかどうかの質問があってもおもしろいと思う。メディアが、たくさん使っていけば少しずつ馴染むようになると思います
20代	女性	沖縄市	日常的に使わない世代に、その魅力を知ってもらえるといいなと思います
20代	女性	沖縄市	しまくとうばにも地域差があるので、自分が分かるかどうか聞かれるとどう答えていいのかわかりません。アンケートありがとうございました
20代	女性	渡嘉敷村	企業の広告等に積極的に使ってみる
20代	女性	糸満市	学校に強要しても生徒は嫌悪感しかわかないと思う。まずは興味を持たせる働きかけをした方がいいと思います
20代	女性	沖縄市	まずは普段の生活からしまくとうばが聞こえてくる環境や、教育の現場で触れることが、若い世代に繋がっていけるのかなと思います。私ももっと勉強します
20代	女性	浦添市	伝統を大事にしたい気持ちはあるが、伝わらない、地域による違いなどで難しい所もある
20代	女性	浦添市	地元企業と協力してしまくとうば イベントを開催してほしい
20代	女性	うるま市	子供たちの学校のカリキュラムで取り組む必要は感じない。現在職員の仕事の多さが深刻なのと、わざわざ学校で教えるよりは周りの環境(テレビラジオ等)から流す方が効果的だと思います
20代	女性	沖縄市	生活の中でしまくとうばを取り入れないと分からないと思います
20代	女性	那覇市	しまくとうばも標準語も両方の意味を理解し、話すことができる方と他愛もない会話をする機会があれば面白く継承していくことができると思います
20代	女性	久米島町	大阪の人が、他県民の関西弁に違和感を抱くように、しまくとうばも沖縄県民からすると、移住者が使うしまくとうばが不快だったりすると思います。が、しまくとうばを勉強できる機会があれば、興味はあるので参加したいと思います

20代	女性	久米島町	FMくめしまラジオが大好きで毎日聴いています。沖縄版ラジオ体操や沖縄民謡はラジオを聴いて知りました。今では生活の一部になり、0歳の息子も沖縄民謡を聴きながらお昼寝をしています。県外出身なのでしまくとうばはとても素敵文化だです。これからも継承してほしいです。私もこの機会に色々調べてみます
-----	----	------	---

2. 調査結果の詳細

「しまくとぅば」の普及推進についての意見、感想（30代）

30代	男性	竹富町	沖縄出身の芸能人がよく使っているは知っている。ぜひ公共の場でも知事や行政などの長に積極的に使っていただきたい。又、私は内地出身の移住者である為、知らない言葉が多い。是非積極的に学べる機会を作っていただきたい
30代	男性	嘉手納町	話さなくてもいって環境ならどんどん無くなっていくと思います。英語のようにその言葉でしか伝わらないとわかれば自然と喋る機会は増えると思います
30代	男性	南風原町	テレビ、ラジオではなく、オジー、オバアの話を聞く方が島くとぅばを理解します。なのでSNSやテレビではなく、身近な人を大事にし、言葉で感じる必要があると思います
30代	男性	石垣市	もっとテレビやネットで流す
30代	男性	うるま市	学校等で教育の場で教えていただけると良いと思います。授業の一環として、しまくとぅばを取り入れるなど
30代	男性	八重瀬町	店の中に商品の説明で使ってみる
30代	男性	八重瀬町	職場（介護職）の同僚でも使用している人が少ない為、気にも留めなかったが、改めて考えると「しまくとぅば」を普及継承してほしいと思いました。アプリのゲーム感覚で勉強できたらいいと思います
30代	男性	那覇市	日常生活で使うことや、学ぶことがまず大事だと思います。その環境で生活すれば誰でも自然に使えるようになるのでその環境を作ってほしいです
30代	男性	八重瀬町	普段から喋る機会を増やせたら継承できると思います。TV、ラジオ等
30代	男性	名護市	30代ですが、高齢者の日常使いで聞くのがほとんど。また、ヤンキーが使う言葉のイメージが強い。よって年下に話す言葉、ぶっきらぼうな言葉のしまくとぅばしか知らない。敬語より丁寧なしまくとぅばを普及させるのが良いと思う
30代	男性	宜野湾市	日常会話で方言が出てこないと言の習得、継承は難しいので、日常会話での使用を広める
30代	男性	北谷町	小さいときから教えることが必要だと思います
30代	男性	読谷村	テレビ放送での字幕にしまくとぅばをのせる。街の看板や標識にしまくとぅばを併記する。言葉の意味がわかれば、しまくとぅばを自然と使うようになると思います

30代	男性	糸満市	子育て世代がしまくとうばを使いたいと思わない限り、しまくとうばの普及継承は難しいと思います。普及させるために私が考えた案として、子育て世帯の家庭向けに、親子で学ぶとしまくとうば検定みたいなものを作成し、検定にクリアできたら、県内の商業施設で使えるクーポン等を配布する。クーポンを使用する際には、お店の方とのやり取りを、しまくとうばでしなければクーポンを使うことができない等の縛りを作れば、しまくとうばに触れる機会を作ることができ、且つ子育て世帯も助かる取組になるのではないかと考えました。予算は、現在実施している、しまくとうば事業で効果が薄いものを終了させて、その財源をあてる
30代	男性	南城市	最近の親世代がしまくとうばを子供達に話すことが少なくなり、これが続いてくことで大事なしまくとうばが失われていくと思います。僕自身生まれた島のありのままの言葉を覚えて話したいけれど、親も話さない、周りも話さない、といった形で触れることがなく覚えることもままならないので、しまくとうばに触れる機会が増えることによって島の人たち、どの年代の人たちもが自然としまくとうばの普及継承に関わっていくかと思います
30代	男性	那覇市	あまり良い意味では無い方言ばかりを多用する若者が多いので、方言は乱暴的なイメージがあると思います。それを払拭する為には身近なTVやSNS等でイメージの良い方言を多用すると良いと思います
30代	男性	南風原町	有名人やメディアでしまくとうばを使い、官公庁で挨拶だけでも使うと伝統の文化が継承され大事にされている、誇りを持っているという雰囲気ができると思います。子供達の教育に取り入れると将来誇りを持って県内外に影響を与える力がつくと思います
30代	女性	南大東村	学校等のクラブ活動で、興味のある子だけでも、しまくとうばを習う事ができると良いと思います
30代	女性	西原町	全て「しまくとうば」で、字幕に標準語をつけた動画を一般の人達にyoutubeへUPしてもらって人気動画には賞金を出すコンテストの実施

2. 調査結果の詳細

30代	女性	与那原町	TVなど方言特集で代表される「はいさい」や「めんそーれ」よりも日常で使える言葉が自然とその状況で出てくる環境を維持する事が今の沖縄県民に大切だと思います。ニュアンス的にも方言で言う方がくだけてやんわりする事も多いと思います。「この馬鹿野郎」→「やな、トットローひやー」、「あなた汚いですよ」→「えー、ひんがーやー」の様に文句も笑って許せる。39歳海外在住ですがうちなーぐちを聞くと安心します。ウチナーンちゅにとって大切な目に見えない財産ですね。ぜひ今の子供達にも残して行ってほしいです
30代	女性	西原町	大学の講座（選択授業）で「しまくとうば」を受講していましたが小・中・高でも総合的学習の時間や選択科目で「しまくとうば」に触れる機会があっても良いと思いました
30代	女性	西原町	小・中・高・大学の選択科目にしたらいと思います
30代	女性	北谷町	・小学校や中学校でのクラブ活動でお年寄りの人と交流する場面で、しまくとうばを教えてもらう事でコミュニケーションが広がると思う。・しまくとうばのイベントがあると良い。(沖縄の人はイベント好きなので。)・お笑いで方言ネタが好きな人が多いのもっと活用すると親しみがでる
30代	女性	沖縄市	なくなってしまうのは寂しいと思う。けど、実際は自分も話せないし、普段の生活で使うこともほとんどないので、継承は難しいなと感じている。シーミーや仏壇事で子どもが、祖父母から簡単な言葉を教えてもらったりもしていて、最近は小・中学校でも習うことがあるようで、それはとても良いことだと思います
30代	女性	中城村	私は幼い頃から祖父母や父母が話しているしまくとうばを聞いているので、聞いて理解することはできますが、話すことはほとんどできません。これは今の子供達にとっては英会話と似たような感じだと思うので、ぜひ授業で取り入れてほしいです。保育園等でも積極的に活用できたらいいと思います。しまくとうばを身近で話す人がいないと慣れないと思うので、大人向けの講座、Youtube配信、ローカル番組等で特集をしていただけると身につけやすい(取り入れやすい)のかなと思います。沖縄らしいしまくとうばを途絶えさせないように、私も子ども達に、わかることは伝えていきたいです。以前いた職場では、聖書をしまくとうばに変換させて読み合わせをするという時間がありました。すごく勉強になりましたし、しまくとうばっていいなと思いました

30代	女性	渡嘉敷村	沖縄の伝統として残して欲しいと思います。子ども達に教えてもらう機会（授業等で）があれば嬉しいです。また移住者も増えている現状を考え、しまくとうばの様々な言葉の意味や歴史を大人も知れる機会があればと思います。興味を持つ方は自ら調べると思いますが、「あることが（使われている事が）自然になると良いと思います。「しまくとうばBOOK」みたいなのが家にあると大人も子どもも楽しめるのかなと。しまくとうば”カレンダー”や目に入る物にミニ知識みたいなもので身近にあると嬉しいです
30代	女性	那覇市	勉強したい気持ちは強くあります。内地から仕事で来ていますが、たまに年配の取引先の方とそのお話になり、勢いでうちなーぐちを話されてついていけないことがあります。定期的に「検定」という形で簡単な試験勉強をする機会があれば私もチャレンジしてみたいと思います。沖縄ならではの言葉、唯一無二の宝物なのでぜひ守ってほしいと思っています。ちばりよー
30代	女性	那覇市	私の母（現在70代前半）が中学生の頃は学校で「共通語励行週間」と云う月間目標があり学校全体で方言（しまくとうば廃止）に向かっていったと聞く。母は家庭では方言（しまくとうば）が主な為今でも祖母（母の親）叔父などは方言を使う。70代の方でも母のように方言（島くとうば）を使うのは少ないので現在方言を知っている方を地域で活用し子どもたちに継承してほしい。しまくとうば普及継承していく為には地域によってのことばの違いもあると思う。若者が使っている（現代用語のようなことば）だけでなく昔の祖父母の島くとうばを継承してもらいたい。親の呼び方ひとつにも違いがあると母は云う。父（ターリー） 祖父（タンメー）（ウスメー）（オジー） 母（ア・ヤー） 祖母（ウメー）（ハーメー）（オーバー）
30代	女性	糸満市	「しまくとうば」という呼称自体が「しまくとうば」ではなく、行政を中心に県民のナショナリズムを喚起するために定義されたものと思慮します。（旧来は「シマクチ」等だったのでは？） 「しまくとうば」の普及は、観光業に県経済の多くを依存する状況下、観光客に”異文化”をアピールする面では一定の効果はあると思われませんが、他方、閉鎖的な印象を与えるのも事実であり、基地移設に関する国との対立姿勢も含め、県外からの忌避感は今も高まっていると感じます。このような状況で、他の教科を減らしてまで「しまくとうば」を教えるのは、沖縄県の一層の孤立を招くものと考えます。県民の誇りを取り戻すためには、教育水準および所得水準の向上であり、優先すべきは「しまくとうば」の授業や補助金ではなく、適切な教育計画と経済対策ではないでしょうか

2. 調査結果の詳細

30代	女性	大宜味村	おじー、おばーなど話せる人がまだご健康なうちに、取り組みの必要がありますね！頑張ってください
30代	女性	南城市	ある程度聞き取れるが、話すことが出来ない為、子ども達を通じてやTVやSNSなどで発信するとよいかと思う。学校の授業を減らすと勉強が心配…朝のホームルームなどで今日の島くとうばの紹介などをし、レクなどで島くとうばゲームなどをして、楽しく学べるのも良いかと思えます
30代	女性	与那国町	しまくとうばは、必要とか必要じゃないとかその前に、なくてはならないものだと思います。大事にしていきたいです
30代	女性	沖縄市	「しまくとうば」を使っていくと次の世代の人たちにも繋がるし、自分達のまわりで、使っていく（娘の感想）
30代	女性	西原町	私自身、1～10までを歌で覚えたので、歌で数やあいさつが覚えられれば自然に普及していくのかなと思いました。ただ、会話レベルは難しいと思うので、小学校などで総合学習として習うのは有りだと思います
30代	女性	恩納村	移住者ですが、沖縄の気候や豊かな自然が大好きです。普段、沖縄出身の方とふれ合う機会がほとんどないのですが、お話しできた時に、しまくとうばを教えてください、意味を知っていくと、文化を知れるきっかけになると感じています。また、そのふれ合いで、沖縄のかたの、あたたかさを知りました。普及、応援しています
30代	女性	那覇市	自分自身もしまくとうばに関して無知な状態で外国語ばかりに目を向けてきて本土や海外に進出するうちなーんちゅとして最低限のしまくとうばの知識と会話などスキルを持つべきと痛感している。グローバルを目指す沖縄県民の方々は外国語+しまくとうばを身につけて世界に出ながらしまくとうばの普及にも役立つ人材になっていたら普及につながるのではないかと考えます。(私自身もそうになりたい)
30代	女性	宜野湾市	TVCMやSNSでもっともっと発信していくのが一番若者たちにも伝わりやすいと思います
30代	女性	宜野湾市	SNSやテレビ、ラジオなど人の目・耳にふれる機会の多いシーンで使う/広げたら効果的だと思います
30代	女性	那覇市	家族が共通語しか使えないのと、子供に教える機会がないため、学校や公民館、児童館等の講座として取り組んでいただけたら助かります
30代	女性	うるま市	家庭内で話す機会が全くありません。きっかけさえあれば、学んでみたいです。学校の学習に取り入れるなど、半強制的に機会をいただけたほうがありがたいように思います。県外からみても、貴重な言葉です。誇りを持って残していくべきだとは思いますが

30代	女性	那覇市	無くなっていくのはいけないと思うが、親も喋れるのに喋らない環境になったから、この現状になってしまっている。 みんなの意識を変えるのは中々難しいと思います
30代	女性	名護市	おじいおばあとコミュニケーションを取ることが大事だと思う。勉強で習うより自然と耳にはいる方が覚えるし、日常的に使える。会社など組織の中で意識的に使うのは無理矢理感があって、自分の言葉ではなくなる
30代	女性	伊是名村	自分も使えないので子供に教えてあげることができないのだが、やっぱり昔から使われてきた言葉が無くなるのは悲しいので、ぜひテレビとかでも講座があったら、いいかも。学校でも子供達に教えてくれたらいい
30代	女性	西原町	私はうまくしまくとぅばを話せないけど、なくなってほしくないのでもっと普及継承されていって欲しいです
30代	女性	宜野湾市	周りの年寄りが少なく、聞く頻度がなくなってきているので、テレビ、ラジオなどで聞き慣れると効果的だと思います
30代	女性	名護市	チラシの配布やバスやモノレール等でしまくとぅばをもっと宣伝する
30代	女性	宮古島市	学校の5教科の授業を減らして、しまくとぅばの授業を入れるのは賛成ではないが、総合学習等で伝えるのは、とっても良いと思います！
30代	女性	那覇市	小中高や沖縄県内の企業でしまくとぅばの使い方などを先輩が後輩へ上司が部下へ継承して、毎日、一回、しまくとぅばを使うようにしたらイイと思います
30代	女性	西原町	県外の人と接していると、自信をもって使えるといいなと思う。ある程度の単語は分かるし高齢者相手には使うこともあるが、やはり話せない。公共の場ではしまくとぅばは使いにくい。使うとすれば、訳付きでないと伝わらない
30代	女性	南風原町	子どもは、学校で給食時間の「いただきます」や、簡単な挨拶を習っていたりしまくとぅば絵本などを読んで、しまくとぅばに興味をもっている。小さい頃から、しまくとぅばに触れる環境があれば自然と興味を持つのかなと思います
30代	女性	南風原町	イベントやシステムの周知 知らないから参加できない
30代	女性	金武町	市町村単位でしまくとぅばイベントがあると幅広い年齢でしまくとぅばに興味をもつと思います
30代	女性	座間味村	アンケートの質問内容が似ている内容が多くて分かりづらく、しまくとぅばに対しても難しいのではという先入観が出た

2. 調査結果の詳細

30代	女性	名護市	お年寄りとお過ごし機会が減ってしまった現在、お年寄りとお子どもが触れ合うイベントなどがあると、良いと思う。コロナの環境でなかなか機会がないと思うが、実際お年寄りから方言を聞いた方が覚えそう。また、日めくりカレンダーなどで、うちなーぐちの意味や成り立ちなど伝えるのも良さそう
30代	女性	座間味村	地域差があるため、一律に使用したほうが良いとは言いづらい現状があると思います。学校現場への活用に関しても、時数等が厳しい中、授業を実施するのはとても苦しいかと思えます。なので、普及センターで地域の話者をもとに講師を育成し、学校現場への派遣をおこない、外部講師として活用できたら良いと思います
30代	女性	北谷町	県外出身なので馴染みはありませんが、沖縄の親族と仲良くなるためのツールとして覚えたことはあります。移住組も増えてきているので、普及することでうちなーんちゅとないちゃーの壁みたいなものがなくなったら素敵だなと思えます
30代	女性	糸満市	方言をよく使う高齢者と接する機会が少なくなっている方が多いと思うので、高齢者と方言を話す機会が増えたらいいと思います
30代	女性	那覇市	子供のときから【しまくとぅば】に触れる機会を増やすことで、使用することへの抵抗はなくなると思います
30代	女性	うるま市	学校給食の牛乳パックなどに身近なしまくとぅば単語など印刷すると、特に子ども達の目に留まり、興味を待ってもらえるのではないのでしょうか

「しまくとうば」の普及推進についての意見、感想（40代）

40代	男性	石垣市	音楽等の沖縄の素晴らしい芸術も、しまくとうば（石垣ではシマムニ）が残らなければ、残らない、伝わらないと思う。自分もそんなに分からないけど、できるだけ積極的に使っていきたいです
40代	男性	名護市	子供が増えると誰か興味をもつ可能性もあるので、子育て支援に力を入れるべきだと思います。子供がいないとエイサー、伝統文化も残せないの、次世代にしまくとうばを残したいなら、子育て支援をお願いします。「子は宝」子供が税金を払い、世を支える。過疎化地域は子供もいないため、豊年祭など組踊り、エンサーがなくなっています。どのようにしたら、その伝統文化を引き継ぎますか。ぜひ、子供が住みやすい、子供を育てやすい環境をよろしく願います。時間とお金に余裕があれば、踊りにも通わせることができます
40代	男性	今帰仁村	40代の友人達は簡単な方言しか分からない。50代以上の方達はほとんど方言で話しています。30代の方達、20代の方達はほとんど分からないと思う。方言を残すためには、イベント、教育、していけないといけないと思う
40代	男性	豊見城市	次世代でも継承していくべき。建設従事者だがしまくとうばを話せ、聞けて、とても役立っている。先輩達とのコミュニケーションでかわいがられている為
40代	男性	豊見城市	しまくとうばカルタの配布（学校等で）
40代	男性	沖縄市	島くとうばは、話す機会がない。環境もないので、話せない。地域へも聞こえてこない
40代	男性	沖縄市	日常生活で昔ながらの、うちなーぐちを聞く機会も話す機会も学ぶ機会も無くなっている。お年寄りも訛のある標準語を話すし、若者は新しいうちなー標準語を使う。寂しい限りである
40代	男性	南風原町	日常で残していくのは大切だが、間違いがあっては困る官公庁での仕様は控えてほしい
40代	男性	沖縄市	現在身近に聞こえてくるしまくとうばは、暴言的な言葉が多い感じがするので、他者に対しての敬いしまくとうばを正しく伝えていく事が大事だと思います

2. 調査結果の詳細

40代	男性	中城村	言葉はコミュニケーションなので、身近に使う人がいないと、しまくとうばはどんどん廃れていってしまうと思います。テレビ、インターネットの普及で標準語でのコミュニティやコミュニケーションが標準化されているので、ますますしまくとうばの使用頻度が減ると予想される。この時代の流れからすると、しまくとうばの普及は難しいと考える。しかし、このアンケートにあった様々や取り組みによって、普及は無理としても減少に歯止めをかけることはできると思います。1番はしまくとうばを使う人（高齢者など）との交流する機会が増えると自然と使うのでいいと思います
40代	男性	うるま市	道路標識など、普段目につく場所にこのような表記があれば馴染みやすいと思います
40代	男性	東村	昔は近所に、おじー、おばーが多く方言は日常的に使われていました。しかし、現在は方言の知らない人が多く島言葉は絶対に残すべき財産だと思います
40代	男性	那覇市	話せない人が居ると、使えない
40代	女性	うるま市	汚いと言われるから活用のしにくさがある。地域によって違うのもめんどろ…
40代	女性	浦添市	<ul style="list-style-type: none"> ・汚い言葉やバカにしたりするしまくとうばを耳にするのでしまくとうばに良い印象がない。 ・しまくとうばを知らないとかがバカにしてくるから見下されてイヤ。 ・ていねい（キレイ）なしまくとうばを話す人がほぼいない。知らない人が多い ・まず親がしまくとうばを話さない。 ・地域によって違いすぎて覚えられない。統一感がない
40代	女性	石垣市	県外出身ですが、しまくとうば好きです。沖縄へ移住して15年ですが、最近の若い子でもしまくとうばを話しているのを聞くとうれしくなります。私はあまりわかりませんが、子供達には継承してほしいと思っています。我が子には特に教えていませんが日常会話で「～ば」など使っているのを聞くとうれしくなります
40代	女性	石垣市	「命ど宝」は、全国の方に知ってほしいと思います。あと、「いちやりばちょうでー」も
40代	女性	宜野湾市	「しまくとうば」にこだわる理由が分からない
40代	女性	宜野湾市	Youtubeなど動画で、実際の使われ方など紹介してもらえたら、手軽に知ることができて良いなと思います

40代	女性	那覇市	学びたい時にすぐに活用できるものがあると良いと思います。 Youtubeに県（公式）から島言葉講座（簡単で見やすいもの（短時間））が出ていると使いやすいです。人気の言語系 Youtuber さんを参考にしてはいかがでしょうか。方言メインの高齢者と話すのに役立つミニ冊子があると職場で使いやすいです
40代	女性	八重瀬町	沖縄出身ではないのでしまくとぅばは簡単なのしか分かりませんが、おじいおばあが話している難しい言葉も解ったら楽しいなと感じます。テレビCMとかで話すフレーズ等はまねしやすいと思います
40代	女性	うるま市	民間企業とかお役所とか、色々な公共の場所や沖縄のテレビ番組とかでお笑い芸人がコントでしまくとぅばでやると自然にテレビ番組は見るはずだし、まずお笑い芸人だとおもしろい番組も作れそうだと思います
40代	女性	八重瀬町	簡単な「しまくとぅば」は小学校までに、教えるように社会全体で取り組んだ方がいいと思います
40代	女性	渡嘉敷村	観光客を相手に仕事をしている人の場合、しまくとぅばだとコミュニケーションが取りづらい為、ほとんど使う機会はないと思う。でも、沖縄で生まれ育つ子供達には使う機会がなくても、しまくとぅばを忘れないように教えて伝えていくのは大事だと思うので、授業等にとり入れられたらいいのかなと個人的には思います
40代	女性	沖縄市	沖縄方言自体が絶滅危惧種となっている現実を鑑みてこのような啓蒙活動を経て県民が意識していくことが大事だと思います。県内マスコミはそういう記事をどんどん発信して行ってほしいです。若者向けにSNSでも積極的にアップしていても意識向上につながると思います
40代	女性	国頭村	子供達へ広めるには、やはりテレビで放送するのが効果的だと思う。クラブ活動でしまくとぅばに触れているがなかなか使う機会がないようです
40代	女性	沖縄市	幼い時から、しまくとぅばに親しんでなかったのが、学校やイベントの中で、しまくとぅばを多用、周知がもっとあったなら少しは話せたかなと思います
40代	女性	南風原町	・しまくとぅばを聞くことはできるが、話すことができないので講座の開設はとても良いと思います ・小学生の頃に習ったしまくとぅばは今でも覚えているので小学校で学習することは大切だと思います
40代	女性	南風原町	以前は高齢者に関わる仕事をしていたので、いろいろ教わって勉強にもなっていたが、今は関わることがないので、勉強する機会がなくなってしまった。もっと講座が身近にあると良いと思いました

2. 調査結果の詳細

40代	女性	那覇市	残ってほしいと思う。その反面使わなくても生活できる現状。教えてくれる方が近くにいてほしいと思う事もよくある。高齢者の方と方言で話してみたい
40代	女性	那覇市	方言は沖縄文化として大切だと思います。高齢者が方言で会話していると、若い人や子どもたちは意味がわからず、キョトンとしています。触れる機会が多ければ、話せなくても、聞いて意味を理解できる様になると思います。子どもたちが高齢者と触れ合い、しまくとうばの普及で高齢者に明るい笑顔が増えるといいなと思います
40代	女性	宜野湾市	若い世代に興味を持ってもらうためにSNS（ショート動画）を活用したほうがよいと思う。沖縄県出身の芸能人や芸人、俳優さんにしまくとうばで発信してもらいたいと思います
40代	女性	中城村	普及してほしい
40代	女性	宜野湾市	文化としての継承は必要だと思うが、普及活動の必要はないと思います
40代	女性	与那原町	言葉はその人の考え方、感じ方、表現に繋がるものとおもうので、これからも沖縄の人が沖縄の人であるために、方言の普及は必要だと感じます
40代	女性	糸満市	TV、CM、ラジオ、等沖縄らしい個性豊かなしまくとうばの放送を積極的に流す傾向にすれば、県民も生活の中で自然と聞く事が出来ると思います
40代	女性	西原町	私自身、あまり島言葉を知らなくて嫁いでおばあちゃんとの会話で多少苦労しましたが、それ以外では気にならないので子供にも生活の中である程度わかれば良いかなとしか言えない
40代	女性	那覇市	大人から子どもまで楽しめるテレビ番組を作る。または、YouTube配信をする
40代	女性	座間味村	生活範囲の周りに使う人がいなければ、難しい。興味がない人への普及は難しい。大人になったら学ぶ人は片寄るので、普及をするなら幼小中にするべき
40代	女性	竹富町	しまくとうばは島や地域によって違う為、学校で教えるのは難しいと思う。地域のしまくとうばは地域に任せるしかなく、他はTVで、うちなーで遊ぼう的なものが増えたら良いのではないのかな。と思います
40代	女性	名護市	継承のためには日常的に使えるようになるのが大切だと思います。まずは口に出す事。保育園からしまくとうばに慣れ親しむことが必要だと思います。保育園からしまくとうばの制度、取り組み、カリキュラムみたいなものを作るといいなと思います。

40代	女性	竹富町	方言も大切だけど、伝統文化(三線を弾きながら民謡を歌えば方言も勉強になる)と紐づけながら習うのもいいかなと思います
40代	女性	西原町	こども園(保育園)に勤務しています。しまくとうばを話すまではいきませんが、祖父母参観日や発表会等でうちなーぐちで始めのあいさつを行い、日常ではうちなーぐち手遊びやうちなーわらべうた、食事のあいさつでうちなーぐちを取り入れることがあります。子どもたちは言葉の面白さを感じ、楽しんでつかっていると思います。これからも子どもたちが少しでも親しみをもってしまくとうばをつかう機会を大切にしていきたいと思います
40代	女性	那覇市	個人的には減びてしまえばいいと思っています。沖縄は日本から独立する気概もないくせにアイデンティティを強調するな。昔は方言札があった時代もあると聞いているので、罰が当たっていると思っています。書き言葉で方言を見るのはごちゃごちゃしていて疲れる
40代	女性	金武町	沖縄の言葉を残して欲しいです
40代	女性	伊江村	あるかも知れませんが手帳にしまくとうばを記載する。本やカレンダーの作成目に付きやすい物への記載など良いかなと思います
40代	女性	久米島町	私は両親が県外出身者なので、子供のころはしまくとうばを耳にする機会がほぼなかった。なので聞き取りもしゃべることもほぼ出来ない。小さなころから耳にする機会を増やしてあげた方が成長した後でも受け入れやすいと思う。私よりも子供たちの方がお年寄りとの会話を理解しているようなので。(住まいが田舎なので周りにお年寄りが多く、接する機会も多いので耳が慣れていていると思う。)
40代	女性	糸満市	Youtube等で、面白い動画にしたら普及すると思います
40代	女性	中城村	しまくとうばがどういうものであるかを紹介する。しまくとうばの歴史や重要性を広く伝える。しまくとうばを積極的に使う参加イベントの実施をする。しまくとうばを使いたいと思えるような、いいところや便利なところをわかりやすく伝える。しまくとうばは肩苦しいイメージがあるので、こんなところで使われている、こんな表現の仕方がある、というようなことをポスターやチラシなどで身近に感じられるように紹介する
40代	女性	糸満市	40代ですが、一昔前は、祖父母、父母(学生の頃に方言札で方言禁止されていた世代)など会話での方言が日常に溢れていましたが、私自身、家庭を持って夫婦で方言はほぼ使わないし、子供には方言を質問されたら意味を答える程度で、方言で会話をするまでには至りません。子供の習い事として三線を6年程通わせていましたが、あまり理解していません。うちなーぐちを次の世代に残すのは難しい課題だと思います

2. 調査結果の詳細

40代	女性	南城市	沖縄で人気のあるタレントさんのテレビ番組やラジオでしまくとう ぱのコーナーとかあれば耳に入ってきてほしいかと思えます
-----	----	-----	---

「しまくとぅば」の普及推進についての意見、感想（50代）

50代	男性	伊江村	①学校・家庭・地域の連携と意識を持つこと。 ②各地域（市町村）で後世に残したい方言を調査し、その言葉を普及させる。 ③間違っても良いので方言を発することが大切 ④ある村では発表会で方言活用をしています。（地域人材活用）
50代	男性	石垣市	子供向きアニメ（字まく付）しまくとぅばフルバージョンの番組など発信すればいいと思う（放送時間は短くてもいいので毎日発信する）
50代	男性	豊見城市	自然にしまことばがでる生活を
50代	男性	宜野湾市	しまくとぅば話者を増やす事は大変な事ですが県の取り組みとしてぜひやってほしい。ハワイ語が復活したように
50代	男性	伊江村	今と昔では話すことばは違って来る物だから学問として、残すことは、大切だと思う。ことばは必要だから使うので、変化していくものだと思う。だから普段使いをもっと進める事を考えては。特別なものは、残っていかないとします
50代	男性	宜野座村	ずっと地元に住む人は、自然と年配の方たちと、交流があるのでしまくとぅばを使う方が標準語をまじえながら話しをするので、昭和生まれの方が亡くなっていくと難しいのかなと思います
50代	男性	那覇市	うちなあのおちむぐくるの良さを日本人に広められると残す宝とは何か気づいてくれる時が来ると思います
50代	男性	恩納村	難しい課題ですが、是非とも後世に残して行ってほしいと思います。我々世代でも正しいうちなーぐちは難しいです
50代	男性	伊是名村	しまくとぅばにふれる機会を多くする。前頁にあったようにカレンダーやSNS等活発に発信したほうがいいと思います。また、しまくとぅばには”こっけい”な表現があるため、そういうところがカッコわるく感じたりするのではないかと思います。聞きなれないイントネーションや単語にはじめは戸惑いもあるかも知れませんが、カレンダーなどに日本語・しまくとぅば・英語・韓国語などをのせて毎日目にすれば自然と覚えるのではないかと思います。音のカレンダーなどもあればなおいいかも知れません。（イメージ）日1月2火3水4木5 ・こんにちは・ハイサイ・ハロー・アンニョンハセヨ
50代	男性	浦添市	沖縄県民として自分もたまにですが、しまくとぅばを活用、話していきます
50代	男性	那覇市	ぜひ頑張って広めて欲しいです

2. 調査結果の詳細

50代	男性	糸満市	どのような状況でも常に日頃から話すことが大事。おじいおばあが、大人達に普通に話すこと
50代	男性	那覇市	県外出身者には難しすぎるので、会話が成立するには相当の学習が必要だと思いますが、耳が慣れる意味でも、生活の中にしまくとうばに触れる機会があるのは良いことだと思います
50代	男性	竹富町	末端の組織、公民館などでの活動が望ましい
50代	男性	与那原町	時代の流れが変わり、周りの親戚などのおじいおばあと関わるのが少なくなり、方言を話すことも聞くことも少なくなってきたので理解できる方言も忘れていくのが多いと思います。なので、テレビなどのバラエティー番組で方言を使用、人と接する日常生活（仕事）などで身近に使うようになったら親しみを感じて、若い人も周りに使うようになっていくと思います
50代	男性	北谷町	「しまくとうば」を話すゆるキャラが必要です。大人気になれば全国的に一気に「しまくとうば」の認知度は上がる
50代	女性	うるま市	毎日テレビCMで流す
50代	女性	糸満市	学校等でしまくとうばの教育実施は、絶対良いと思いますが、親の世代でしまくとうばを話せない方が沢山いると思います。教育現場で学んでも、その場かぎりが多いのではないのでしょうか。私の母も今しまくとうば普及に頑張っている一人ではありますので、この文化は、ずっと続いて欲しいなと思います
50代	女性	糸満市	テレビやコマーシャルで流して行ってほしい。小さい時（保育園や幼稚園）に教えて行ってほしい
50代	女性	南風原町	しまくとうばを使う方が少なくなってくるとしまくとうばもなくなってしまおうと思うので、色々な取組を行っていただくことは大切なことだと思います。初めて聞くような取組がほとんどですが、しまくとうば検定は機会があれば受けてみたい検定です。しまくとうば検定を受ける方法をもっとPRして自分で調べなくても、受験方法、場所等が目に入るようになると、いいのかなと思います。よろしくお願いします
50代	女性		沖縄の伝統を守り続ける大事な「しまくとうば」 子供達につないでいく事が一番だと思う。「しまくとうば」を使ったアニメ等も効果的だと思います
50代	女性	浦添市	日常からの方言での会話（TV、ラジオ）で流す
50代	女性	那覇市	方言のあとに標準語に通訳して（CM、バスのアナウンス、TV、本など）流したら耳が慣れてきて聞き取りやすくなると思います。私が看護学生だった頃、医療用語（「杖＝ぐーさん」など。）の方言講座はとても役に立ちました。伊狩典子先生（いかりふみこ先生）の「うちナーぐち講座」は、良かったです

50代	女性	南城市	高齢者とのコミュニケーションと「しまくとうば」をある程度理解し、話せる人が、次世代に残すという意識が必要
50代	女性	宮古島市	生活の中で使う言葉として使わないと頭に入らないので学習して覚えると言うのは、言葉として出ないと思います。なのでよく使う言葉を「しまくとうば」に変えて使うと身につくのではないのでしょうかと思います
50代	女性	那覇市	20年以上沖縄に住んでいるが、周りの人が使っていないのでほとんど理解できてないし、使う機会もない。もともと聞きなれた環境だったら、親しみやすいと思うが、そうでないと、わざわざ理解しようとも思わない
50代	女性	うるま市	しまくとうばだが、本土と同じ言葉がなまただけのものが多数ある。例) うちなー／おきなわ そーがち／しょうがつ これが他県出身者にうまく伝われば、ハードルが下がる。しまくとうばについて発信している人がまるで外国語のように紹介すると、興味を持たれるどころか、敬遠されている
50代	女性	伊是名村	強制にしても、なかなか、出身地が県内の人でもあれば、県外の人もいるので、大人は個人で興味をもち、その地域ごとの、しまくとうばを教えてもらう意志があると思うけど、子供達は、学校の総合学習でやった方がいいと思います。クラブやおしつけてまで、しまくとうばをさせるのはどうかなあと思います。子供達に関しては、幼稚園から総合学習で教えた方がいいと思います
50代	女性	豊見城市	よいしまくとうばの承継は必要だと思います
50代	女性	石垣市	〇〇大会、養成講座…とかになると、限られた人のみの参加になるので普及は難しいのと思います。もっと日常的に県民全体が聞く、話せるようになるには、日常生活に落としていかなければいけないと思います。沖縄は本土よりも、先祖崇拜の意識が高く、行事も多く、人も集まるので、そういう時に老若男女がいきり混じって、話せるようになればいいと思います。「旧盆はしまくとうばで、しゃべろう」みたいな、イベント的にしても、おもしろいと思います
50代	女性	金武町	「しまくとうば」単語帳等配布して活用してもらう
50代	女性	読谷村	取組知らないのが多く、テレビ・ラジオ等で宣伝してほしいと思いました
50代	女性	宜野湾市	学校の授業で教育してくれたらいいと思います
50代	女性	宜野座村	「黄金くうとうば」職場で学び合っています
50代	女性	渡嘉敷村	学校で方言使ったらダメと教育された世代の為、今更と思う反面、やはりしまくとうばには風流があって良いなと思うのでこの先もずっと残って欲しいと思います。その為にはやはり小さい頃から慣れ親しんだ方が良くと思います

2. 調査結果の詳細

50代	女性	糸満市	学校教育に取り込んでいければいいと思う
50代	女性	中城村	沖縄の歌は、子供が口ずさみやすいので、学校で歌う機会を増やすと良いと思います
50代	女性	宮古島市	私自身あまり興味はないが 普及継承はしていったほうが良いと思う。学校で取り組むことは良いが、保育園や幼稚園といった早い段階で取り入れた方が良いと思います
50代	女性	渡名喜村	那覇出身でほぼ方言を知らなかった私ですが、離島に移住して20数年かけて聞き取れるようになると、民謡も理解できるようになり三線も習うようになりました 日本人がカタコトの英語を喋ってみたいと地元の同僚達は笑いますが、距離が縮まり以前よりお互いの距離が縮まったのが心地よいです。父方が国頭ヤンバルなので、ヤンバル訛りを聞くと嬉しくなります。ハワイ語と同じく失くしてはいけないうちなあんちゅの大切なアイデンティティだと思います
50代	女性	那覇市	しまくとうば検定や、しまくとうばを使った謎解きなどがあれば、やってみたいと思います
50代	女性	南風原町	組踊や沖縄芝居などの琉球の芸能公演を子供達が鑑賞する機会を作った方がよいと思います
50代	女性	今帰仁村	日常的に少しずつ活用できるような環境を整える

「しまくとぅば」の普及推進についての意見、感想（60代）

60代	男性	嘉手納町	方言を知っている高齢者をもっと、教育施設で活用する場を設定して欲しいです
60代	男性	今帰仁村	テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとぅばの情報
60代	男性	西原町	無くなっていくものを残そうとしても必要性がなければ100年後は消えると思います。残そうとすることを否定はしませんが、これだけグローバルな時代になっていくので外国語の方が大事と思います
60代	男性	うるま市	①Youtubeなどで全く「しまくとぅば」知らない子達にワンポイント（せいぜい5分）で教えていく動画発信する。5回に1回は、理解度テスト動画にする。人気の出そうな明るい活発な子（本気で）、「しまくとぅば」話せるようになりたい子。 ②琉歌の教訓歌の解説動画、恋の琉歌の解説動画の発信。 ③ベアール沖縄. タピックなどで「しまくとぅば講座」等あるいは「うちなーぐち小学校」などを開設してはどうですか
60代	男性	西原町	沖縄の文化の象徴である「しまくとぅば」は無くしてはならない。音楽（古典・民謡）、舞踊 沖縄文化を継承していくためには、学校教育しかないと思う。小・中・高校での「琉球文化」の授業をお願いしたい
60代	男性	伊平屋村	しまくとぅばは一つの文化、伝統、歴史、習慣で統合するものです。TVで笑い番組のイメージしかありません。もう少しレベルUPするべき。方言に言える誇りと大切さ、伝えたいです
60代	男性	粟国村	県内には宮古方言等多くの島言葉が存在するので、どの言葉をおもに普及していくか、その振分けをしっかりとしてほしい
60代	男性	石垣市	私の地域では、豊年祭とかの行事のスラムニ（しまくとぅば）で話をするように、厳しくしていますが、親世代（40代・50代）が、スラムニを話せず、子供に教える事ができません。もっと家庭内、親子でスラムニを使ってほしいと思います。私はそうやって、スラムニを覚えてきたのでその方が一番良いと思います
60代	男性	読谷村	お年寄り・高齢者に寄り添い、会話や心配りをする。昔話等の口承伝説文化を大切に保存する。（読谷村の場合昔話を収録CD化）それぞれの地域の特性を活かし、あいさつや会話があふれる人と人とのコミュニケーションの行きかった地域づくりに努める。しまくとぅば講座も企画すると面白い。しまくとぅば通訳士等
60代	男性	読谷村	沖縄県民のルーツを残すため、あるべきもの。島の文化を残すため

2. 調査結果の詳細

60代	男性	那覇市	私は首里生まれで読谷村育ちです。首里の言葉はとてもやわらかく敬語が多く、一方読谷村の言葉は、とても乱暴に聞こえました。又、となりの部落ともアクセントやなまりも違い、方言を聞いただけで、どこの部落かわかりました。たぶん県内には100以上の方言（島言葉）があると思います。各地方の島言葉を大事にしながら、首里言葉を共通言葉として教育した方がいいと思います
60代	男性	宮古島市	学校での教育の実施
60代	男性	那覇市	学校の授業等での教えが、有効的と思う
60代	男性	南城市	しまくとうばでしか表現できない言葉があるので、しまくとうばは必要である。 きれいなしまくとうばは、すごく重みがあって、上品なので大切にしたい
60代	男性	沖縄市	首里域内に「御内原」があります。「しまくとうば」読みでは「うちばる」ですが、表記は「おうちはら」となっています。どうしてこうなるのか解せない。内地に迎合しているようで非常に不快です。そういう場でも積極的に「しまくとうば」を活用してもらいたい
60代	男性	西原町	学校での実施
60代	男性	宮古島市	取り組みが50年遅かったのでは、文化財として残すことはできても日常生活で残すことは難しいと思います。自分の島言葉には誇りを持っていますが、どの「しまくとうば」を普及伝承していこうとしているのですか
60代	女性	うるま市	情報発信してもそれを知る事がよくわからず、情報を得る事が出来ず、参加等も出来ていない。劇団の活動もあるのかなのか、沖縄芝居も見たいものだ。今の方言も日本語をウチナーグチ風に言っている感のものもあるでしょう
60代	女性	竹富町	父母、祖父母も亡くなり、いないので近くにしまくとうばを使用する人がいない。私・主人もしまくとうばをあまり使えないので学校などに教育の実施ができればありがたいです
60代	女性	読谷村	エイサーや村芝居など地域活動を昭和の頃のように活発にする事が大切だと思います

60代	女性	石垣市	私は関東からの移住者（約20年前）なので直接的な働きかけは難しいですが言葉・言語はその土地の文化そのものと考えています 方言札などという悲しい歴史を忘れずに誇りを持って継承していただきたいです。「沖縄文化論集」（柳田国男他、角川ソフィア文庫）を買い求め読んでいます。先人の優れた研究を地元の人たちにぜひ読んでもらいたいです。地元の友人に尋ねましたら、70代でも話すのは難しいとのこと。聞くことはできる、と。ただ島毎に異なるし（石垣・宮古・本島など）、また島内でも字毎に異なるとのこと。（石垣なら、宮良、白保は全然違うらしい）一括しての伝承は無理でしょう。各公民館の努力が欠かせません。石垣島ならビギンや夏川りみなど歌手にしまくとぅば歌詞を歌ってもらうのも一案かと思えます。覚えやすい親しみ易くなるでしょう。また文字での伝承には限界があるので、お年寄りで話せる人のビデオ記録を急がないと間に合わないかと心配しています。とにかく言葉は文化です
60代	女性	那覇市	公設、農連市場に行っても年配の方が（受け答えで）しまくとぅばを使わないのが残念。くとうばわかい人（ちょー）泌じかさーさんぐとう何処（マー）んじん使いる事（ぐど）すしえーやーでい思（うむ）やびーん
60代	女性	沖縄市	しまくとぅばを話す機会がないのでおじい、おばあたちとうまくコミュニケーションがなくなっているように思います
60代	女性	八重瀬町	以前幼児教育に携わっており、幼児から「しまくとぅば」での発表会があり、とてもいい機会だなと思いました。しかし、私自身全く「しまくとぅば」は出来ず、教える事が出来ませんでした。地域の方のご指導等があれば、幼児期から「しまくとぅば」に触れる体験がさせられたのではないかと思いました。（もちろん私自身も含めて）方言は、多少（単語）は使えます
60代	女性	浦添市	琉球史を学ぶ機会が少なく、かつて政府による同化政策もあったことから独自の民族性や言語に対する意識が薄くなっていったのではないのでしょうか。アイデンティティや心が動くような思いが必要な気がします
60代	女性	宜野湾市	「しまくとぅば」をやめてしまったという戦後の教育方針があった事。家庭では、核家族が進み、戦前まで、話す機会のあった老人との接点が薄くなった事。大きくこの2点が普及しなかった原因だと思います。逆に、この反対の事をすれば、また復活すると思います。学校で英語の授業のように、組み込んでいけば、早道ではないでしょうか
60代	女性	沖縄市	言語は幼少の時から使わないとなかなか覚えられないので、子供向けの番組など増やして日常に見たり聞けたり出来たら良いと思いま

2. 調査結果の詳細

			す
60代	女性	うるま市	なるべく、きれいな「しまくとうば」を使いたいなあと思っています
60代	女性	うるま市	学生時代は、地域性豊かな所で訛りがひどいとか、顔と言葉があわないとよく言われ、イヤな思いをしました。今でもありますが、おばあさんたちが自分の生れ島の言葉を、「忘れたら何にもならない」いけないことだと言われ、又、「個性的でとてもかわいい事」であると言われました。今では、自分から胸を張ってしまくとうばを話している。もちろん共通語も話している。沖縄のこの地域で、生れ育ったこの島言葉が大好き。ぬくもりを感じる、やさしい・やわらかい言葉使いに気をつけて話すようにしています。これからも、子供・孫たちにも話していきたいと思います
60代	女性	中城村	イベントのあり方は、わからないけれど、「さんしんの日」とかでラジオからながれる上原さんの島くとうばの美しさはとても感動しています。お芝居で役者さん方が使われる島くとうばもすばらしい。話せない人たちにとっては、憧れです。主人の方言が上手で両親と話しをするときなど、敬い語を使っていましたがほんとに両親を心から大事にしているように聞こえたものです。ステキだし、カッコイイし、うらやましかったです
60代	女性	西原町	1429年の尚巴志の南山統一から1609年の薩摩の琉球侵略、1872年の明治政府による琉球併合、1871年の廃藩置県後に歴史では教えない琉球藩の設置、他第一尚氏第二尚氏の琉球国の歴史から授業に取り入れる事から琉球語、しまくとうばへ入っていく事が歴史から学ぶ、自分のしまくとうばの大切さが琉球人の魂までゆさぶるのでは無いかと思います。「言葉は私達琉球人の歴史そのものです」
60代	女性	中城村	上品で優しい話をメディアで子供向けに流す。絵本や読み聞かせの普及、高齢者と児童の交流の場を設けるなどして欲しいです
60代	女性	浦添市	テレビ、ラジオなどで沖縄の芸能を島くとうばで演じたり、歌ったり（字幕付）する機会を増やして欲しいです。楽しく笑いの多い内容だと伝わりやすいのではないのでしょうか。沖縄のこわい話は若者に人気のある番組のようです。それと同じ位に話題性があれば興味を持って見たりすると思います
60代	女性	読谷村	小学生の時に方言は使ってはダメと教育を受けました。ですが、家では、方言が主でしたが、今では、ほとんど使いません。でも兄弟が多かったので（ニーニー（兄）、ネーネー（姉））は大好きで今でも使います

60代	女性	南大東村	私の家族、親が子どもの前で方言を使わなかった事もあり、聞く事はできても話せないのが現状です。小さい事から習慣づけると、発音やイントネーションもしまくとうばとして話せると思います。沖縄県人としてしまくとうばを無くしてはいけないと思います
60代	女性	大宜味村	「しまくとうば」の本を配ってほしいです
60代	女性	読谷村	沖縄県は、各地域方言が違っているので普及継承は、かなり難しいと思います。以前（方言札）があったので、集落の方言使わなくなつてから、今は「しまくとうば」はあまり使いません
60代	女性	宮古島市	単語一つで、その心情をすぐに伝えあう事ができる方言をすばらしいと思っている。方言を聞いて育ってきた私であっても、意味を正確にとらえてはいないと、話すことはできない。よって日常に方言を取り入れようとは思わないし、できない。全く耳に慣れていない人達への方言の普及は難しいと思う。しかし継承を続けて残していかなければ消えていってしまう。関係者の皆様に対し、応援をしています
60代	女性	中城村	日頃より「しまくとうば」が聴ける環境を作る事が大切かなと思います。学校の学習や部活に三線や島唄等を取り入れ、ウチナー芝居をみる事もいいと思います。日常生活でもできるだけ「しまくとうば」を使う様にして普及継承していけたらと思います
60代	女性	宜野湾市	小さなうち、保育園から絵本また講師等をまねいてふれあうと良い効果がでると思います
60代	女性	浦添市	ラジオやテレビでもっと取り上げて欲しいです
60代	女性	宜野座村	しまくとうばが禁止されると言う悲しい歴史がありました。心から復活を願っています。私自身も流暢でなくても、日常会話で使えるようになりたい、講座等があれば是非参加したいと思います。子や孫にも是非それを伝えていきたいです
60代	女性	沖縄市	講座が頻繁にあると良いと思います
60代	女性	八重瀬町	お年寄りとの交流の機会をもっと増やしたらいいかと思います
60代	女性	北谷町	子供達やしまくとうばを話せない大人と、しまくとうば話せるお年寄り等と交流会などがあれば、もっと話せる人が増えて会話ができるチャンスが出来る。私自身有る程度話せたが、しまくとうばで会話していた親が施設に入ってから周りに話せる人がいないので会話が無い
60代	女性	読谷村	県外へ出て働かなくてもいい環境作り

2. 調査結果の詳細

60代	女性	宜野湾市	私と同じ年代でも生まれ育った環境によってしまくとうばを使いこなせる人と聞くことは出来るけど上手く話せない等色々です。私もなるべくしまくとうばを使いたいのですが上手く話せない方です。お年寄りにしまくとうばで話し掛けられると探りながらでも応えたいのでしまくとうばを話せる方は積極的に使って欲しいと思います。私もしまくとうばで日常的に会話が出来ようになりたいと思います
60代	女性	南城市	さまざまな場面での利用（特に挨拶等は積極的に使用してほしい）

「しまくとぅば」の普及推進についての意見、感想（70代）

70歳以上	男性	嘉手納町	普段、使わないとなかなか定着しないと思う。コントやイベントとして活用すれば若者は興味を示してくれるのではないか。文化として残って欲しいと思います。可愛い表現がたくさんある。例えば、チーチャーカー トウンタッチーなど凝態語がとても理に叶っていて楽しいと思う
70歳以上	男性	石垣市	学校での普及を図り子供達から年寄りに話しかければ年輩の方々是好意的に積極的会話が積まれ広がりを大きくすると思える
70歳以上	男性	名護市	特に公務に就く方々が先ずは使われて県民に話しかけたらよろしいかと思えます
70歳以上	男性	那覇市	しまくとぅば、沖縄を忘れないため
70歳以上	男性	大宜味村	昔は、各地区でしまくとぅばがあったけど今は、ほとんど、おかげりになっているのが寂しい
70歳以上	男性	北大東村	私達が子供のころは南北大東島を開拓した島の訛りの言葉がつかわれていて、小作にこられた沖縄本島、宮古、八重山、久米島、本島北部、南部の言葉や訛りが入り乱れていて、それに沖縄の方言をつかったらだめとの教育でした（方言札なるものがあった）しかしこれからは、胸を張ってそれぞれの島の方言をつかったら良いと思います
70歳以上	男性	豊見城市	学校で、しまくとぅばを話す機会が増えてほしいと思います
70歳以上	男性	伊平屋村	「しまくとぅば」地域では異なると思いますが、昔からの伝統行事等で文化が受け継がれてきた、大切な言葉なので大切にしたいと思います。子供・孫達に身近に使ってコミュニケーションが、とれれば親しみ感もあり、大切だと思います。話しても相手に通じなければ意味がないので、普段から話す機会の場をもてたらいと思います
70歳以上	男性	読谷村	言葉は「言霊」と言われるように霊が宿っていると思う。方言であれ共通語であれ、美しく、人々を癒す言葉は残して、使う機会を多くすることが大事だと思う。例えば「肝（ちむ）どんどん」など、一つの単語として普段から使うのも良いのでは。そういう使い方は既に多くの人々が行っている
70歳以上	男性	名護市	各地域により「島くとぅば」は違うが聞くことにより、何かしら懐かしく思うし、心が癒される思いがします。是非なくして欲しくありません
70歳以上	男性	与那国町	週に一回か月に1回しまくとぅばの話会を開いてもらいたいです

2. 調査結果の詳細

70 歳以上	男性	今帰仁村	私は妻や兄弟、友達と会話するときはほとんどしまくとうばです。以前沖縄市のフリーマーケットで品定めをしていると、イヤーマーシマーダーガと聞かれました。「ワンネナチジンヌナカズニエービン」話もはずみました。私の孫は沖縄民謡大会で最高賞を取りましたがしまくとうばを聴く話すこともできません。うちなーの伝統文化を理解するにはしまくとうばを話せるようになってほしい。自分はしまくとうばが、わからない言葉もあるので書物も購入している
70 歳以上	男性	宜野湾市	テレビで週1回うちなーぐち（しまくとうば）の芝居とかゆんたくの番組を放映したら、それなりに興味を持ったり、興味が持続すると思います（私はウチナー芝居が好きで、長い間、そういう番組を見続けています）
70 歳以上	男性	糸満市	地域の集まり等で積極的にしまくとうばを使うように推奨する。自治会長の挨拶での使用や集まりをスリーと呼ぶなど
70 歳以上	女性	宜野湾市	地域の公民館や学校で親の世代の方達から習得してもらい、家庭やお友達と話し、学ぶ所があれば良いと思います。『しまくとうばカフェ』の様なスタイルにしてみてもどうでしょうか？内地からの移住者も多いので『しまくとうば』は学びたいです
70 歳以上	女性	那覇市	われわれ先祖が使ってきたしまくとうばは是非残してほしい。自分自身はほとんど貢献できませんでした
70 歳以上	女性	嘉手納町	今の若い子達は「しまくとうば」がわからなくてオバーが「しまくとうば」で話をすると、わからない、はずかしいと言うので学校でも少し聞き、話すぐらいの「しまくとうば」講座があればオバーとの会話が弾むと思います
70 歳以上	女性	金武町	地域によって、方言やアクセントのちがいがあって、わかりづらい事もある
70 歳以上	女性	北大東村	今、しまくとうばを話す人（若い者）は少ないと思います
70 歳以上	女性	宮古島市	私の出身地は多良間島です。すべての小学生～中学生まで共通語が話せなくて、学校で（共通語励行）という標語作って取り組んだのが（方言札）でした。学校内で方言を使うと肩から方言札をかけられ、次の人が方言を使うまで待つて方言を使った人の肩にかける週間がありまして、学校全体で続けることによって共通語が使える様になりました。私は今、宮古島に住んでいますが30年になって言葉はわかりますが、あまり上手に話せません。しかし多良間島の島言葉は話せます。（この話は、60数年前の話です。）しまくとうばは、すばらしいと思います
70 歳以上	女性	沖縄市	言語は生き物であり無理に「継承散を善とする必要性はない」と思います

70 歳以上	女性	糸満市	40代から、古典太鼓、琉球民謡（歌、三線）やっていますが、道場では、常にしまくとうばで、会話しております。沖縄は、多くの方が（子供～大人まで）芸能に力をいれていますので、道場で多くの皆さんが、使うことで広まるのではないかと思います
70 歳以上	女性	今帰仁村	私たち夫婦はいつも方言で話しています。子供たちが少しでもしまくとうばに馴染める様なテレビ、ラジオの番組が増えたらいいと思います
70 歳以上	女性	豊見城市	組踊りや沖縄芝居、お笑いコント等、テレビ・ラジオ等で楽しく見たり聴いたりする。大変いい時代になったと思う。幼い頃、方言札があり、学校の生活目標にも「方言は使わない」があった。幾多の時代に言語を統制され、民族の文化が消されている。未だ、島くとうばが消えていないのだから、皆で守り抜いていかなければならないと思う。アンケートありがとうございました。※「しまくとうば」というけれど沖縄語だと思う。言語学的な話題もあって欲しいです
70 歳以上	女性	沖縄市	私達は「共通語励行」の子供時代でした。しかし就職（福祉関係）し現場では、「しまくとうば」を理解する事が必須でした。我家では父母は「しまくとうば」で話していたので、それは夫婦間の言語と認識していました。それで聞き、理解することに問題はありませんが話す機会はありませんでした。やはり「言葉」は実際に話すこと、話す練習をすることはとても大事だと思います
70 歳以上	女性	那覇市	沖縄では地域が違えば、方言も若干違うと思います。本来首里の言葉が美しいと思いますが（丁寧過ぎる面も。）耳触りの悪い（荒い、汚い）言葉はダメですね。皆が使い易くて、解り易い、しまくとうばが出来れば良いと思います。※日本語と方言を書いてミニ手帳にして安く売るといいと思います
70 歳以上	女性	石垣市	話せる方が、少なくなっていくので何らかの形で普及できれば良いと思います
70 歳以上	女性	西原町	しまくとうば地域によって、皆、異なります。どこを中心にするのか、首里ことばは少し難しい。自分の地域の方言は馴染みやすいですよ。一本にするのか、大きく分けて、先島ではこうと説明もありだと思います
70 歳以上	女性	うるま市	私は小さい時から方言を使っていますが、あと50年後は誰もしまくとうばを話せる人がいないはずと思ったら淋しくなります
70 歳以上	女性	豊見城市	小さい時に学校とか学習すると大人になっても忘れない。今現在、私の家庭では方言は使いません。テレビ、ラジオなどマスコミなど放送する方法もあると思います

2. 調査結果の詳細

70 歳以上	女性	南城市	しまくとうばの取組内容について、ほとんど知らなかったのが残念です。場所と日時がわかれば是非参加してみたいです。県民大会ややびら大会も興味があります。広告の普及を希望します。(テレビ、CM、新聞、チラシ等)
70 歳以上	女性	竹富町	地域で方言を話す高齢者が減っていく現状なので大変心配しています。ある方が一冊の本にしていらっしゃるが、地域(公民館や青年会)などでも、勉強会の実施、録音なども必要だなと考えています

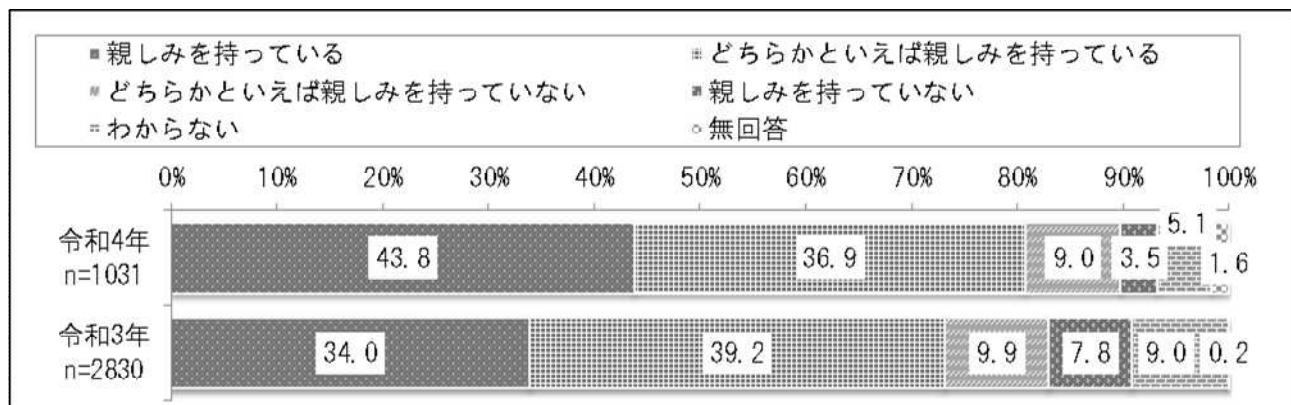
3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

(1) 問1. 「しまくとぅば」に親しみを持っていますか。

「しまくとぅば」に対する親しみは、「親しみを持っている」の割合が令和4年度43.8%で、令和3年度の34.0%より9.8ポイント高い。

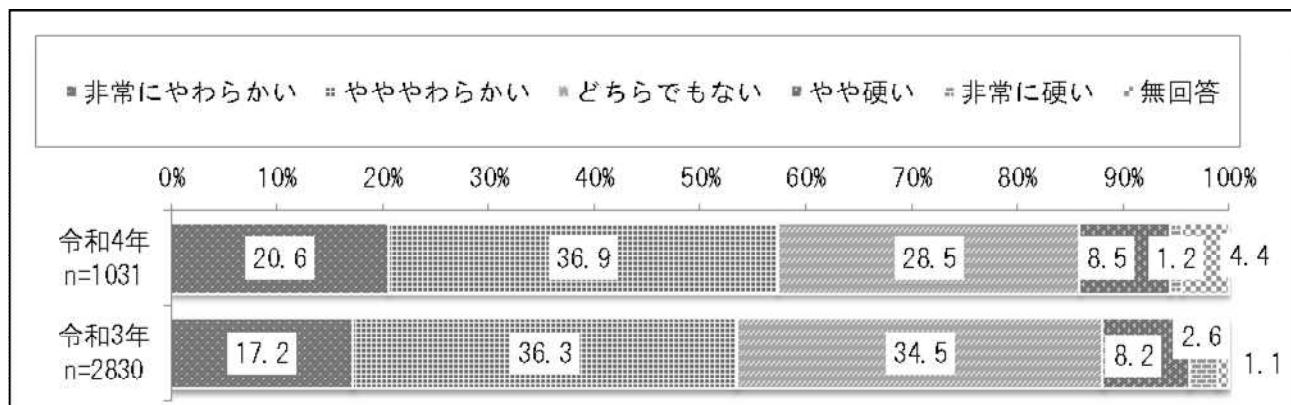
図表64. 「しまくとぅば」に対する親しみ

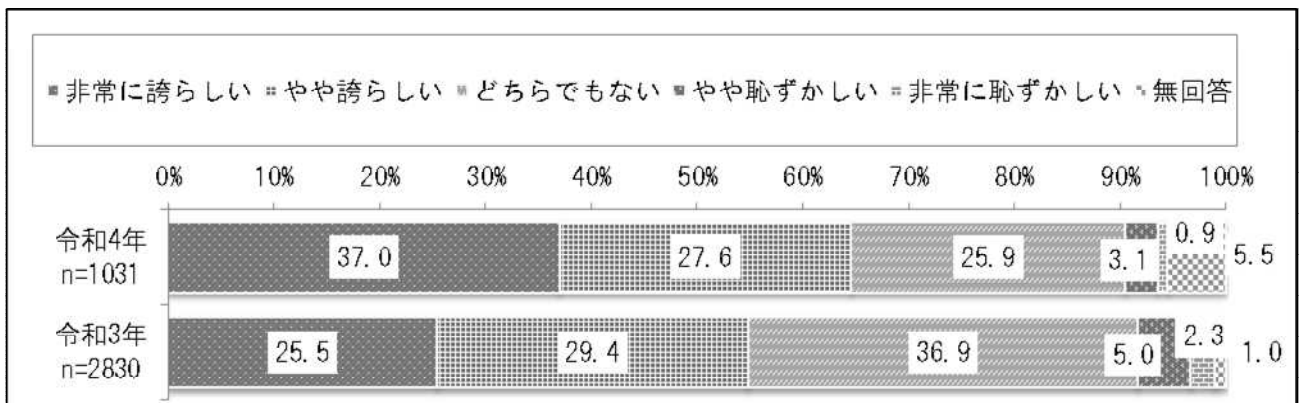
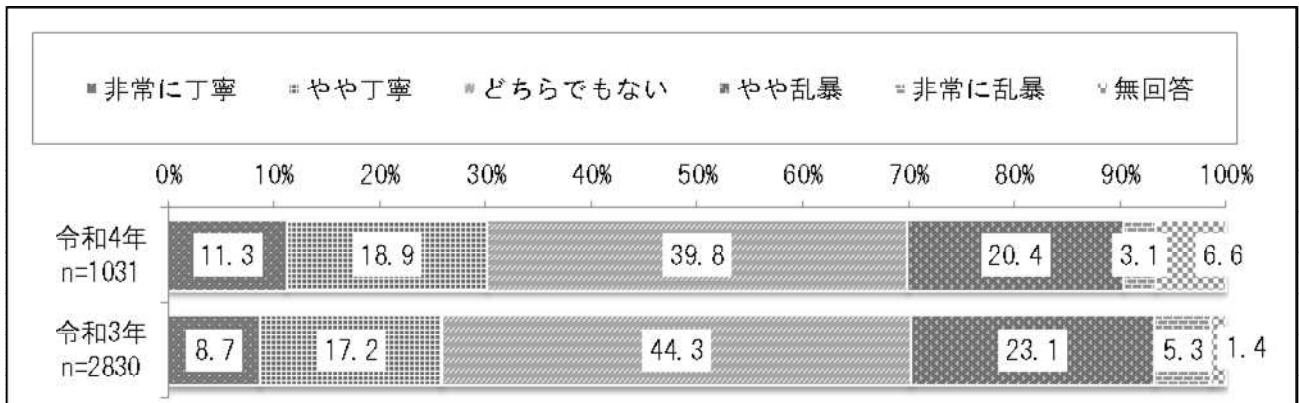
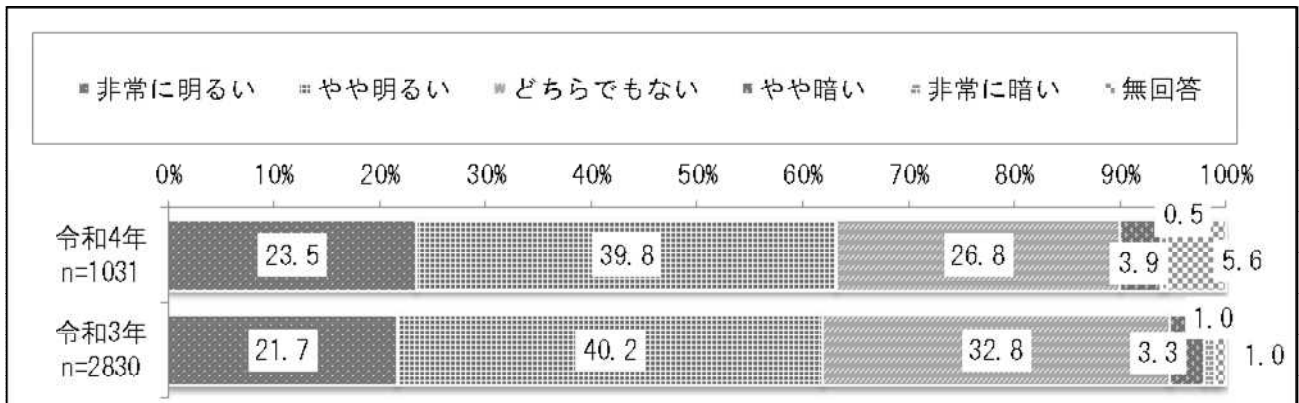


(2) 問2.1. 「しまくとぅば」にどのようなイメージを持っていますか。

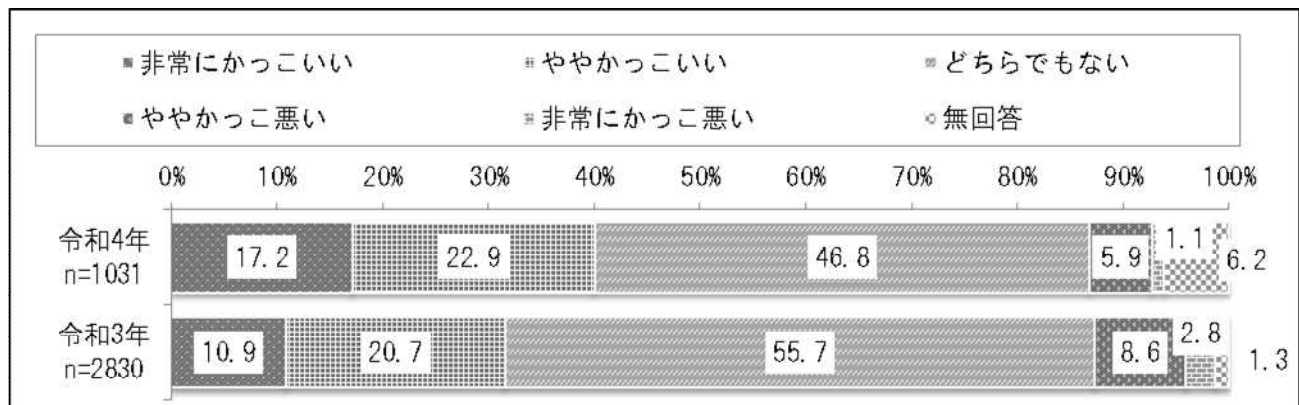
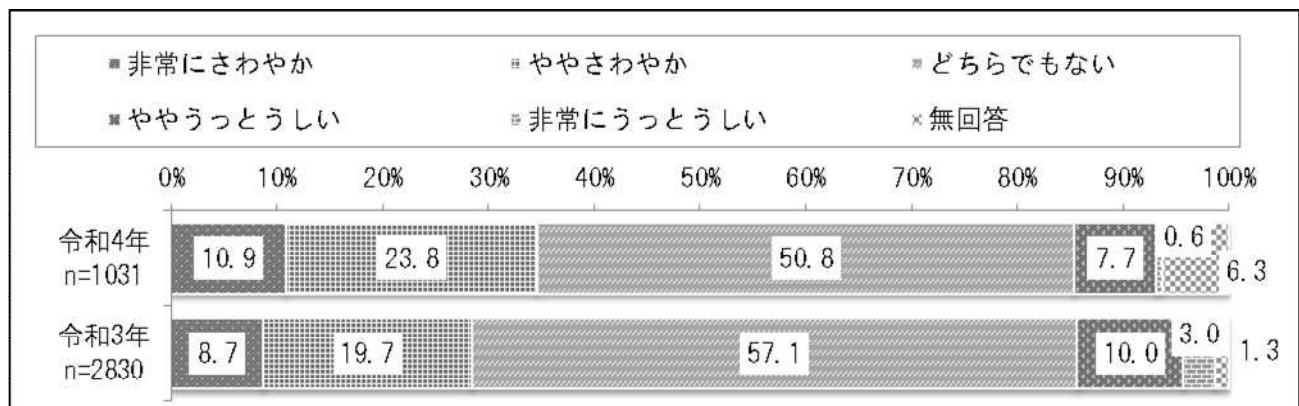
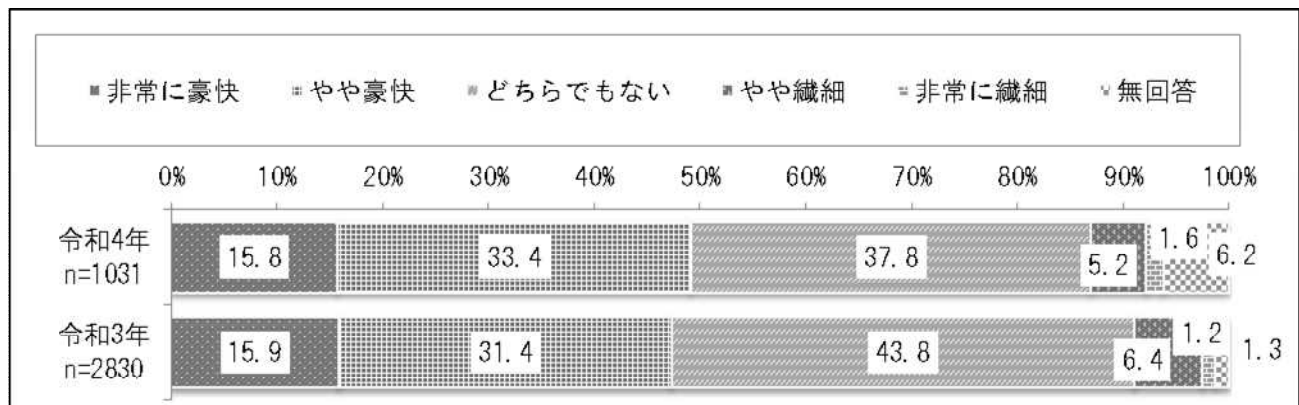
「しまくとぅば」に対するイメージは、「非常にやわらかい」の割合が令和4年度20.6%で、令和3年度の17.2%より3.4ポイント高い。

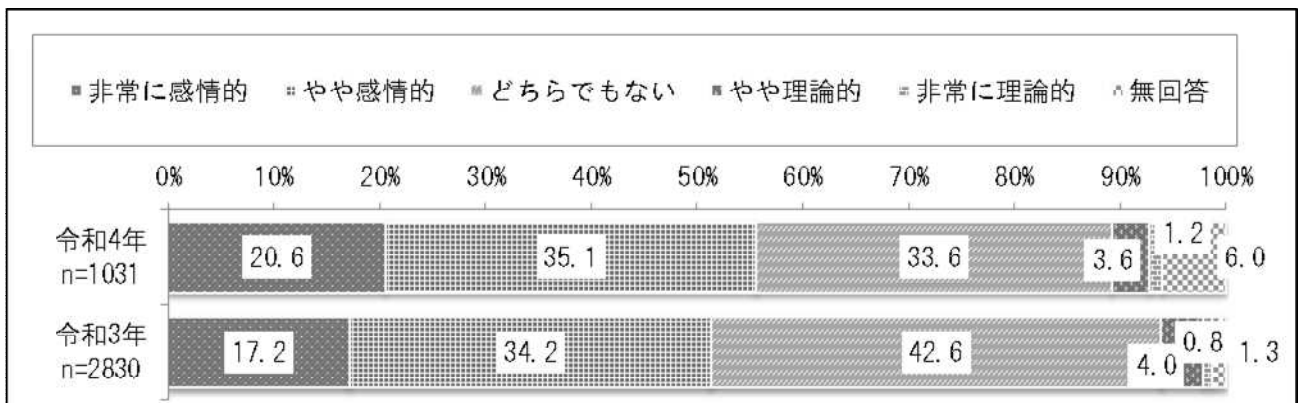
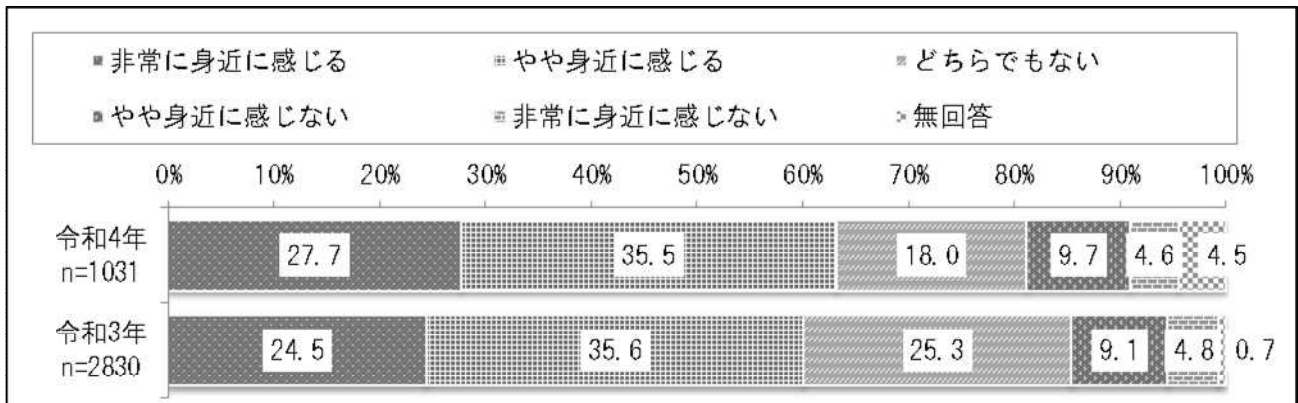
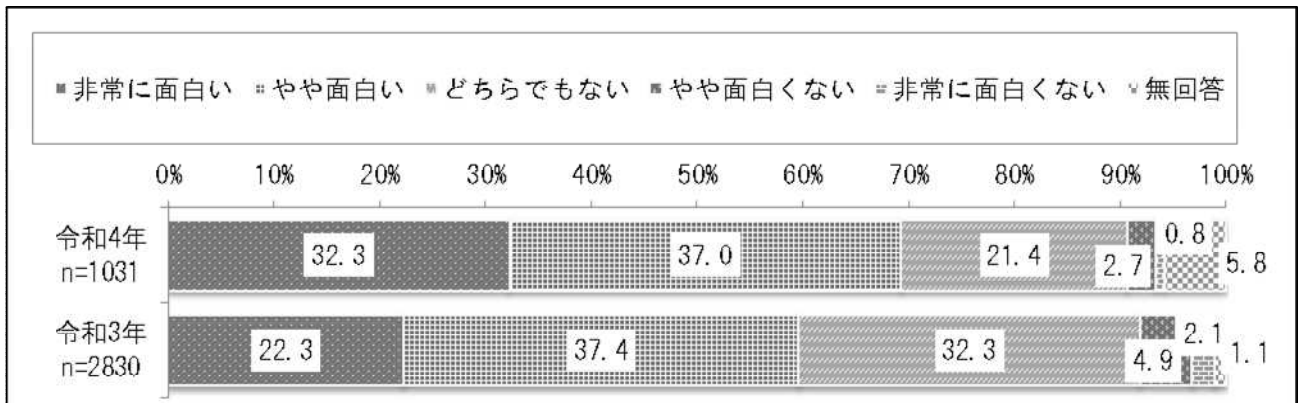
図表65. 「しまくとぅば」に対するイメージ



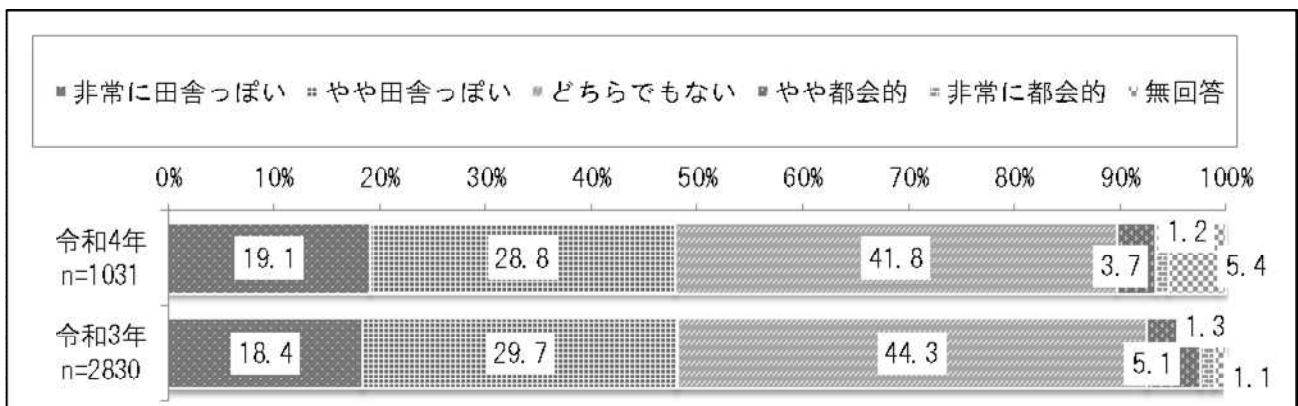
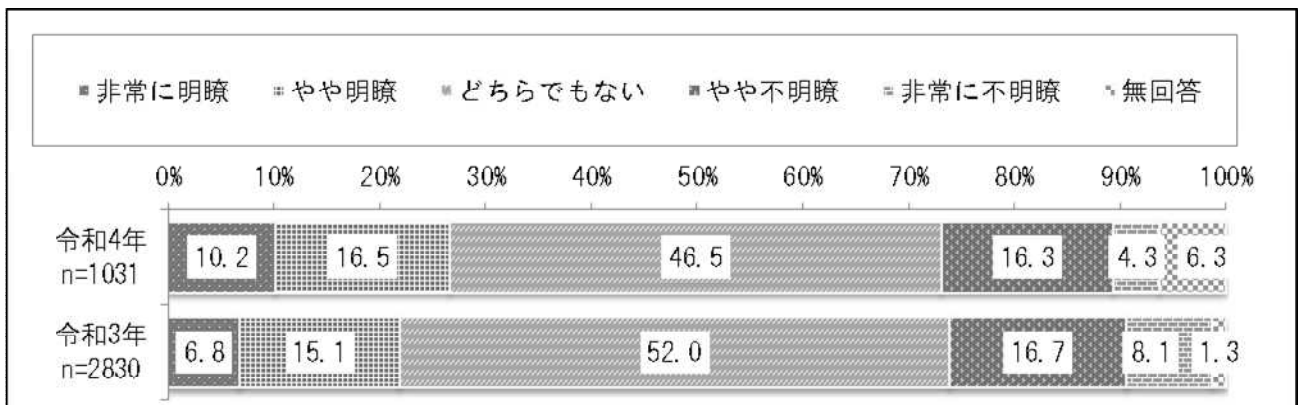


3. 令和3年・令和4年調査結果の比較





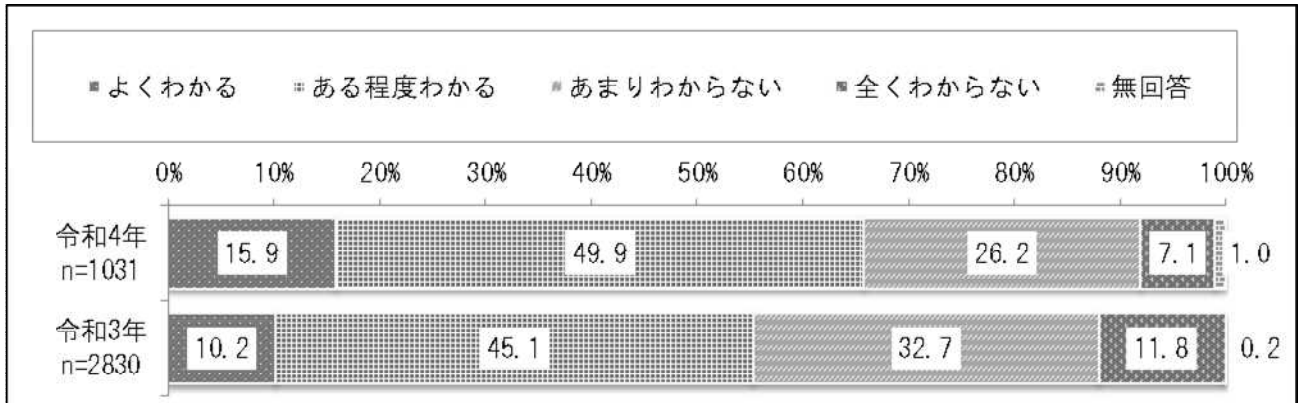
3. 令和3年・令和4年調査結果の比較



(3) 問3. 「しまくとぅば」を聞いて、どの程度わかりますか。

「しまくとぅば」に対する理解度は、「よくわかる」の割合が令和4年度 15.9%で、令和3年度の10.2%より5.7ポイント高い。

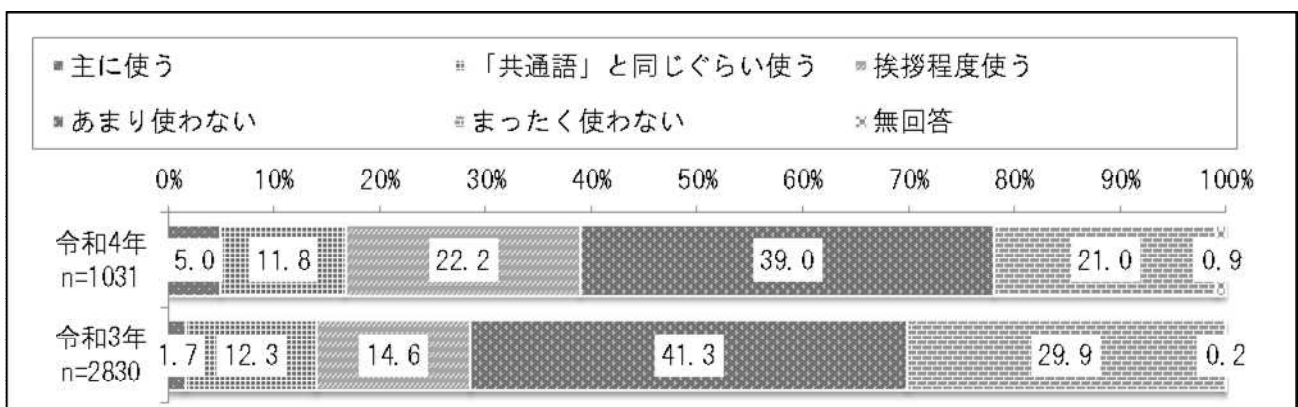
図表66. 「しまくとぅば」に対する理解度



(4) 問4. 人と話すとき「しまくとぅば」を使いますか。

人と話すとき「しまくとぅば」を使うかは、「主に使う」の割合が令和4年度 5.0%で、令和3年度の1.7%より3.3ポイント高い。

図表67. 人と話すとき「しまくとぅば」を使うか

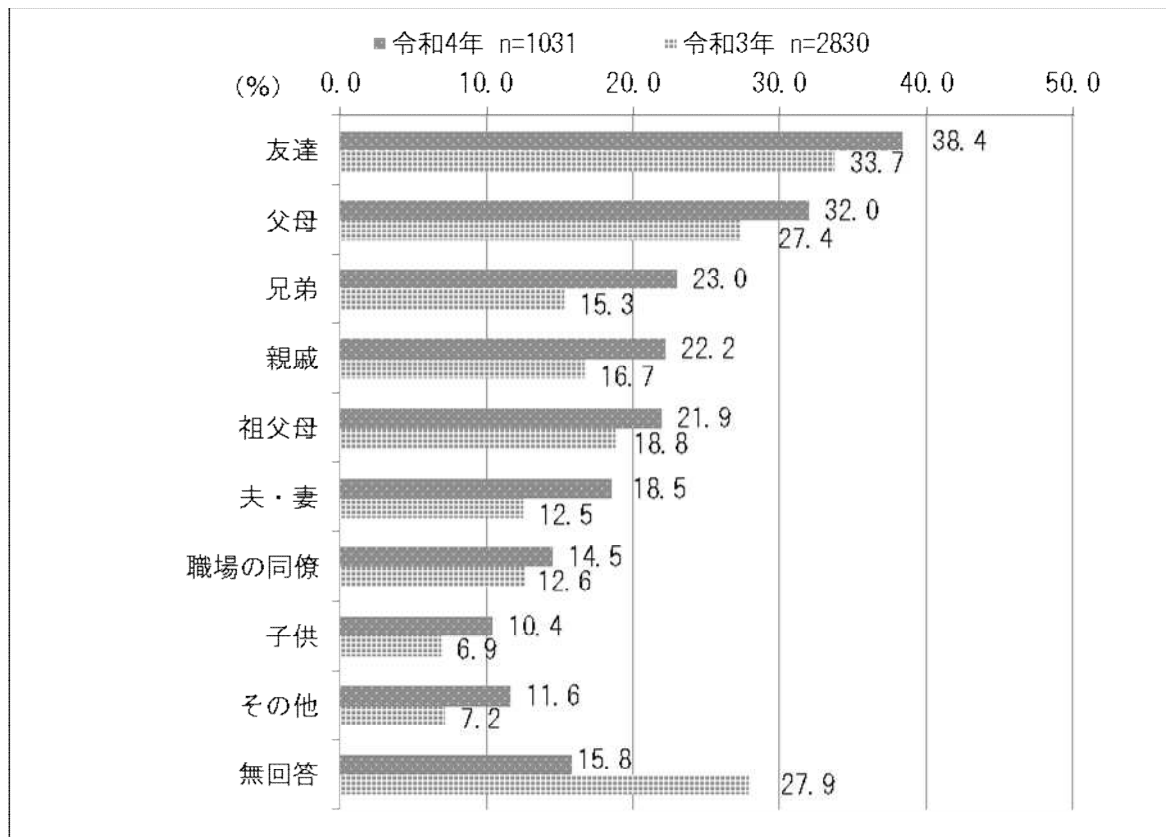


3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

(5) 問5. 「しまくとぅば」を使う相手は誰ですか。

「しまくとぅば」を使う相手は、「兄弟」の割合が令和4年度 23.0%で、令和3年度の 15.3%より 7.7ポイント高い。

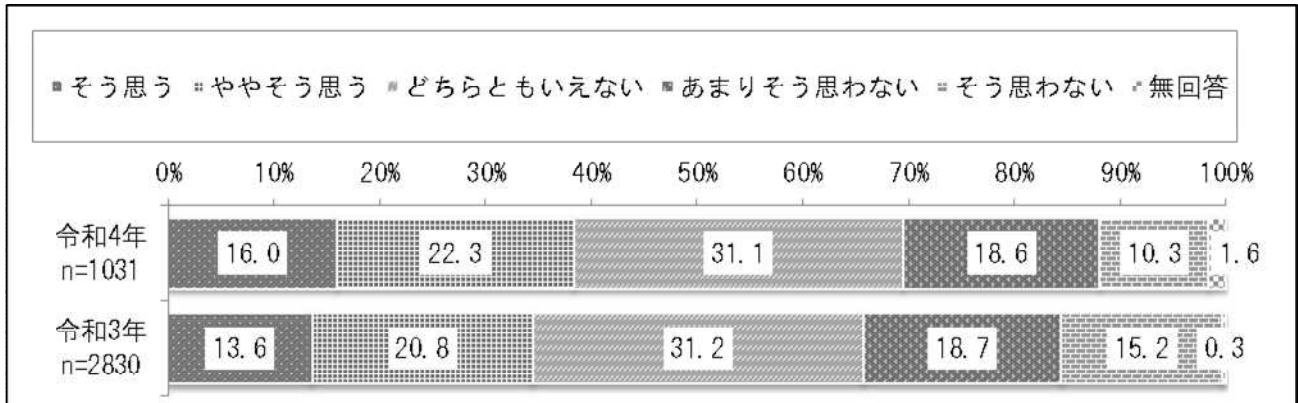
図表68. 「しまくとぅば」を使う相手



(6) 問 6. ビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思いますか。

ビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思うかは、「そう思う」の割合が令和4年度16.0%で、令和3年度の13.6%より2.4ポイント高い。

図表69. ビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思うか

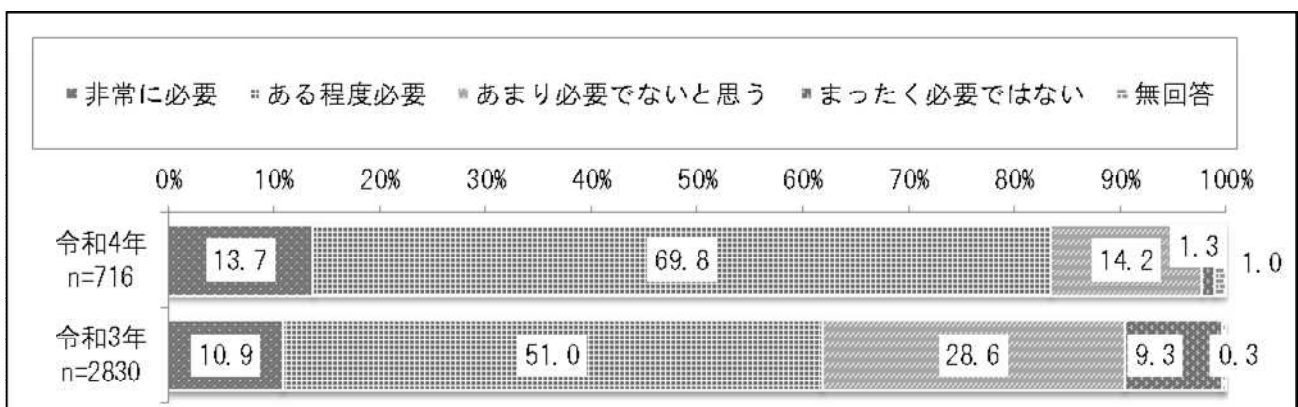


(7) 問 7. 普段の生活の中で「しまくとぅば」は必要だと思いますか。

(○はひとつ)

「しまくとぅば」の必要性は、「非常に必要」の割合が令和4年度13.7%で、令和3年度の10.9%より2.8ポイント高い。

図表70. 「しまくとぅば」の必要性



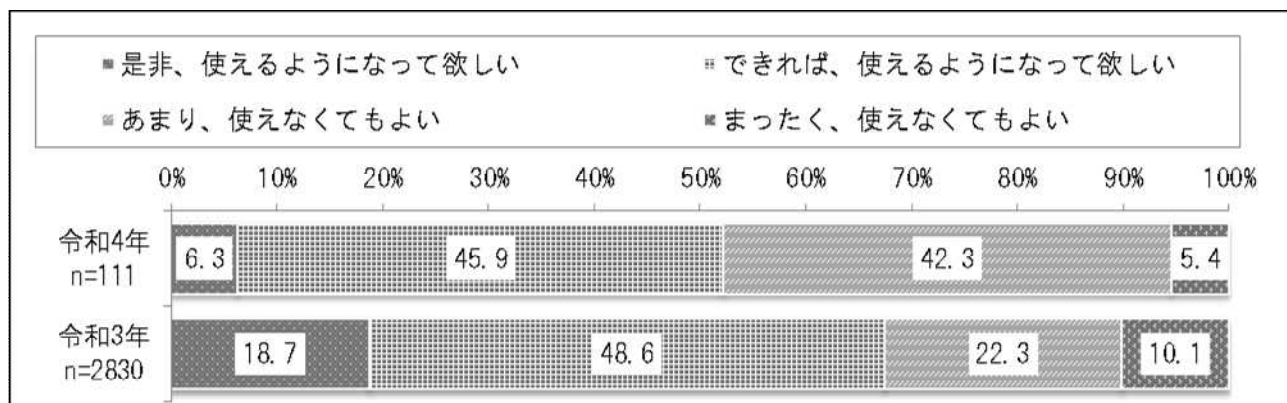
3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

(8) 問 8. 子どもたちに「しまくとぅば」を使えるようになって欲しいですか。

(○はひとつ)

子どもたちの「しまくとぅば」の使用は、「あまり、使えなくてもよい」の割合が令和4年度42.3%で、令和3年度の22.3%より20.0ポイント高い。

図表71. 子どもたちの「しまくとぅば」の使用

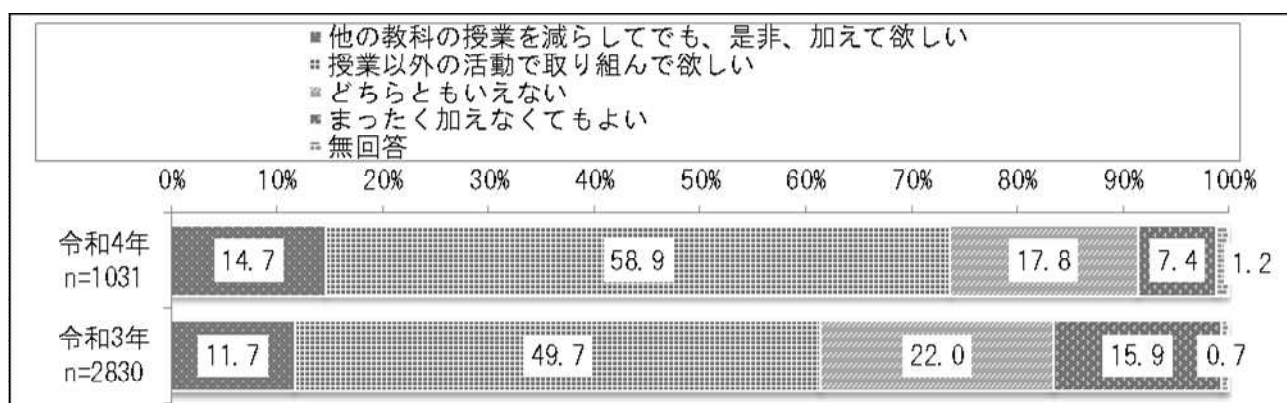


(9) 問 9. 学校の授業科目に「しまくとぅば」を加えることをどう思いますか。

(○はひとつ)

「しまくとぅば」を学校の授業科目に加えることは、「他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい」の割合が令和4年度14.7%で、令和3年度の11.7%より3ポイント高い。

図表72. 学校の授業科目に加えること

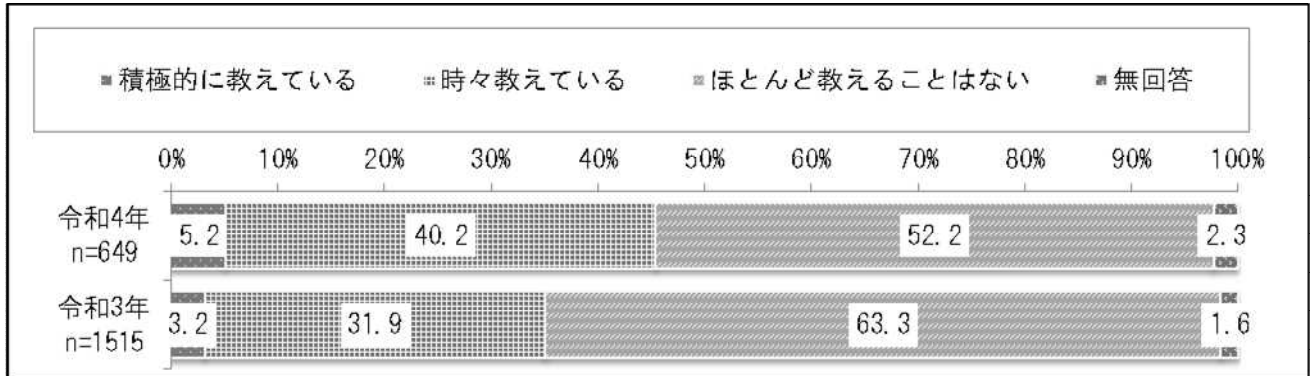


(10) 問 10. 家庭内で子どもに対して「しまくとぅば」を教えるようにしていますか。

(○はひとつ) (※お子様がいらっしゃる方のみお答え下さい。)

家庭内で「しまくとぅば」を教えるようにしているかは、「時々教えている」の割合が令和4年度40.2%で、令和3年度の31.9%より8.3ポイント高い。

図表73. 家庭内で「しまくとぅば」を教えるようにしているか

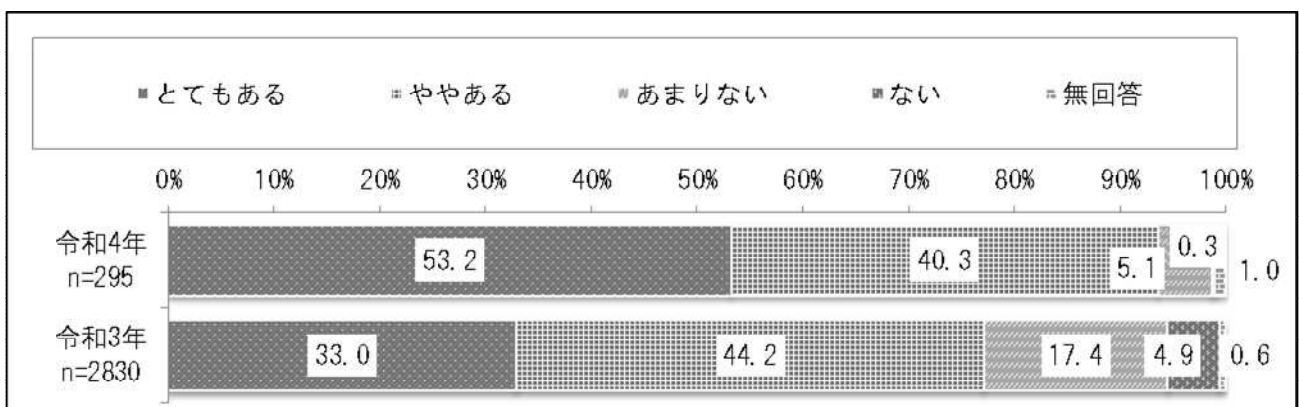


(11) 問 11. ご自身が住んでいる地域(市町村)にどの程度愛着や誇りがありますか。

(○はひとつ)

地域に対する愛着や誇りは、「とてもある」の割合が令和4年度53.2%で、令和3年度の33.0%より20.2ポイント高い。

図表74. 地域に対する愛着や誇り



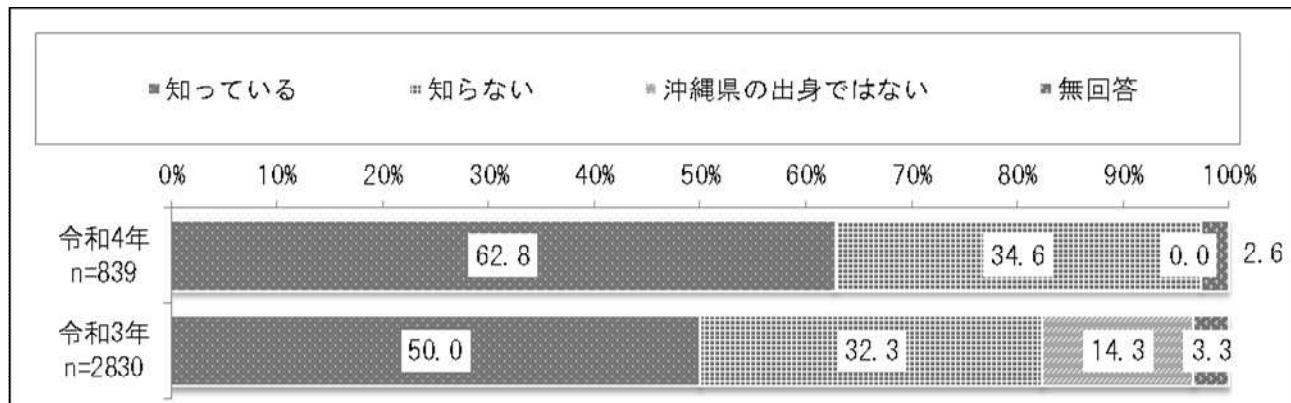
3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

(12) 問 12. ご自身の出身地の「しまくとぅば」を知っていますか。

(○はひとつ)

出身地の「しまくとぅば」を知っているかは、「知っている」の割合が令和4年度62.8%で、令和3年度の50.0%より12.8ポイント高い。

図表75. 出身地の「しまくとぅば」

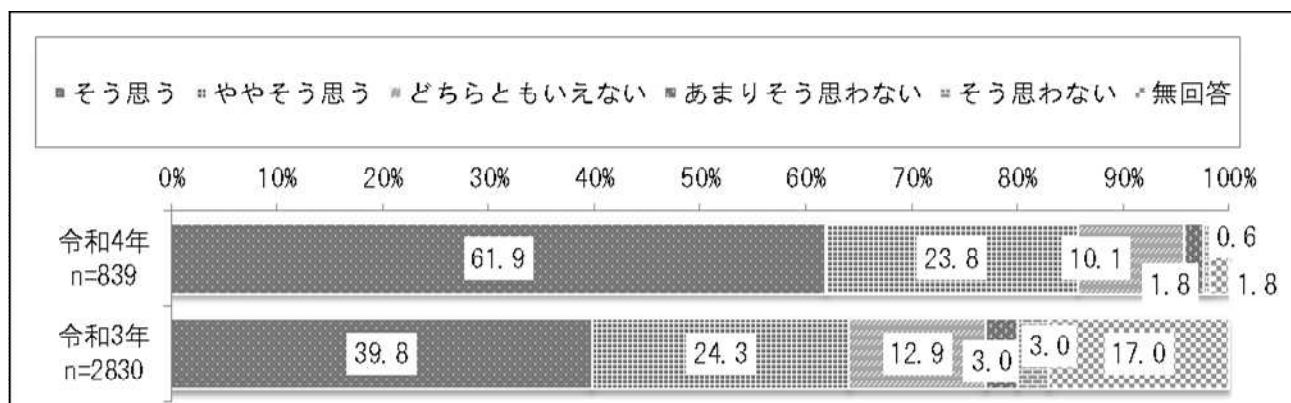


(13) 問 13. ご自身の出身地の「しまくとぅば」が将来に渡って残ってほしいですか。

(○はひとつ)

「しまくとぅば」の継承は、「そう思う」の割合が令和4年度61.9%で、令和3年度の39.8%より22.1ポイント高い。

図表76. 「しまくとぅば」の継承

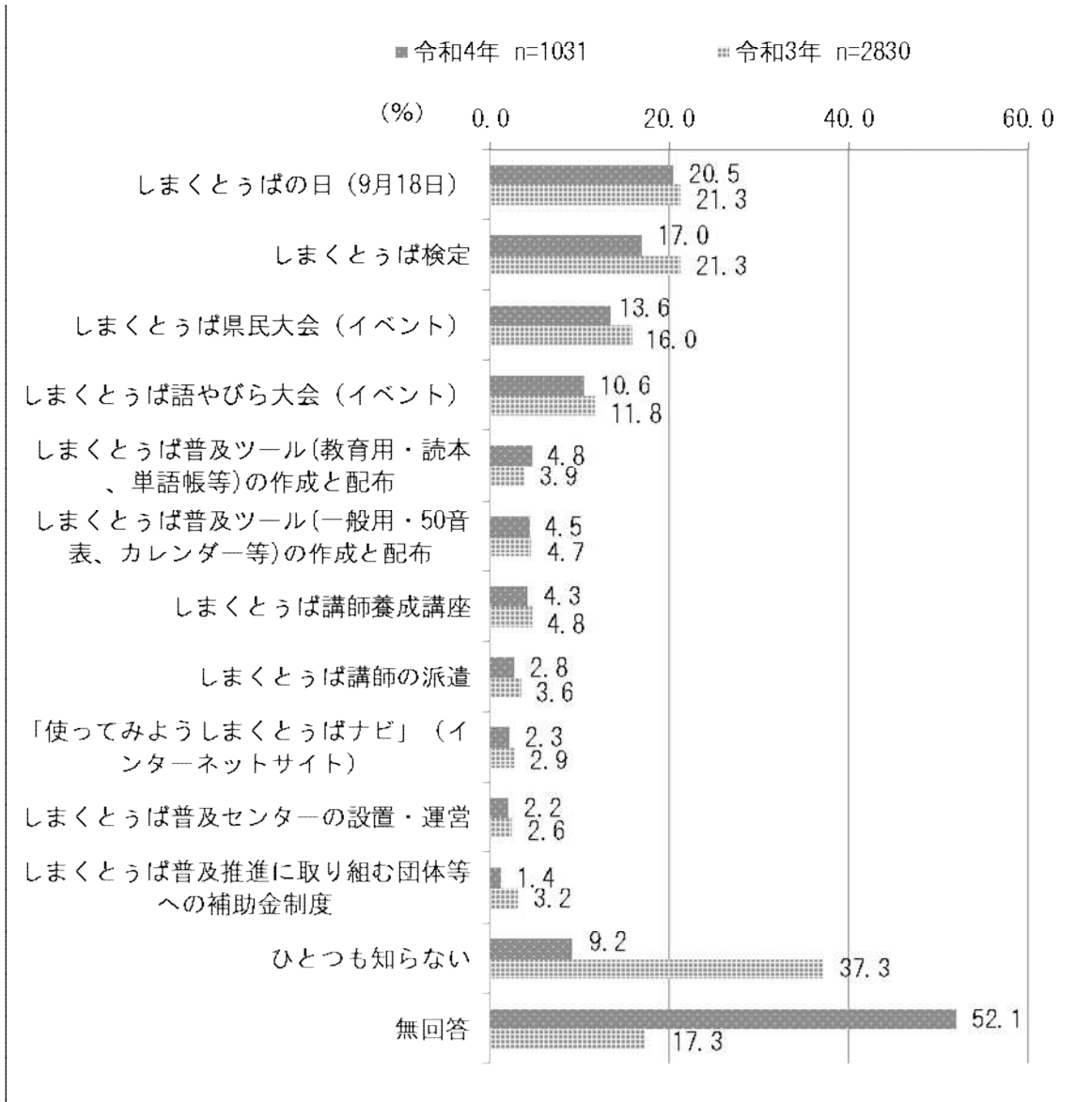


(14) 問 17. 今後、普及継承していくため取組を「知っている」ものをお答えください。

(○はいくつでも)

取組の認知度は、「しまくとうば検定」の割合が令和4年度 21.3%で、令和3年度の 17.0%より 4.3ポイント低い。

図表77. 取組の認知度



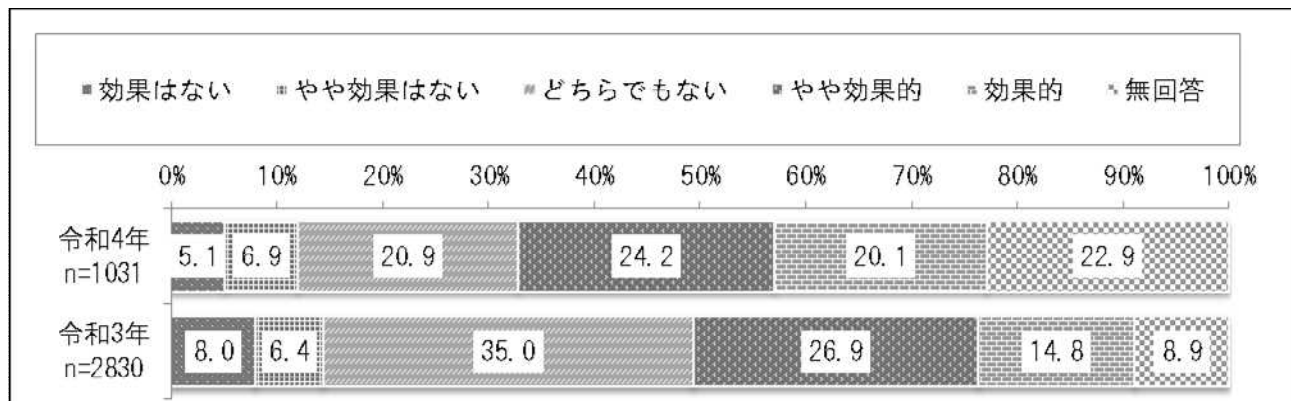
3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

[1] 問 17. 取組みの効果度

① しまくとうばの日（9月18日）

しまくとうばの日（9月18日）は、「効果的」の割合が令和4年度20.1%で、令和3年度の14.8%より5.3ポイント高い。

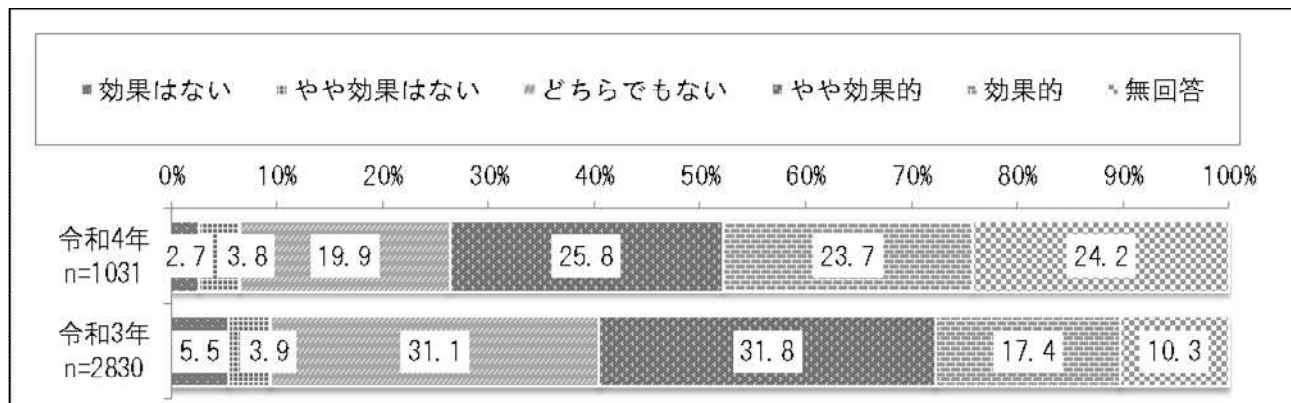
図表78. しまくとうばの日（9月18日）



② しまくとうば県民大会（イベント）

しまくとうば県民大会は、「効果的」の割合が令和4年度23.7%で、令和3年度の17.4%より6.3ポイント高い。

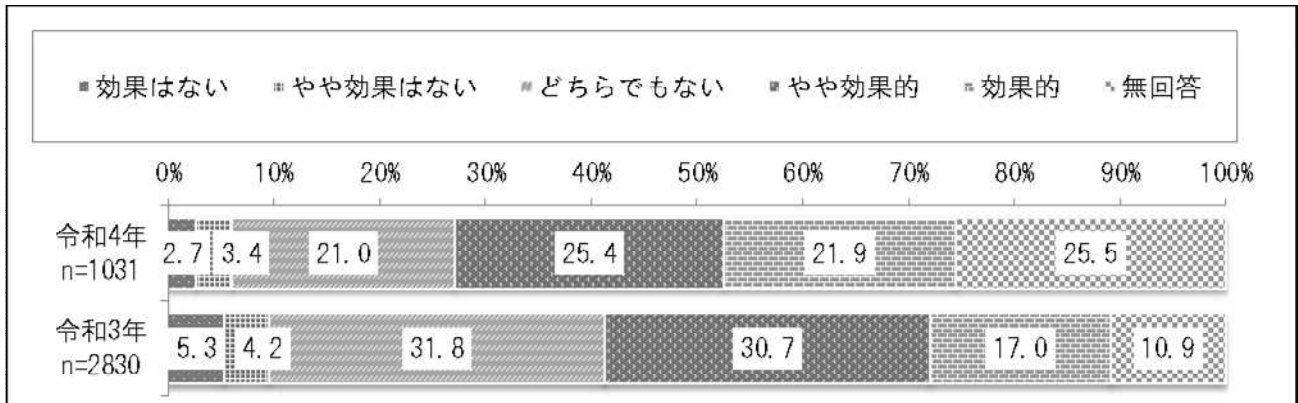
図表79. しまくとうば県民大会（イベント）



③ しまくとぅば語やびら大会（イベント）

しまくとぅば語やびら大会（イベント）は、「効果的」の割合が令和4年度21.9%で、令和3年度の17.0%より4.9ポイント高い。

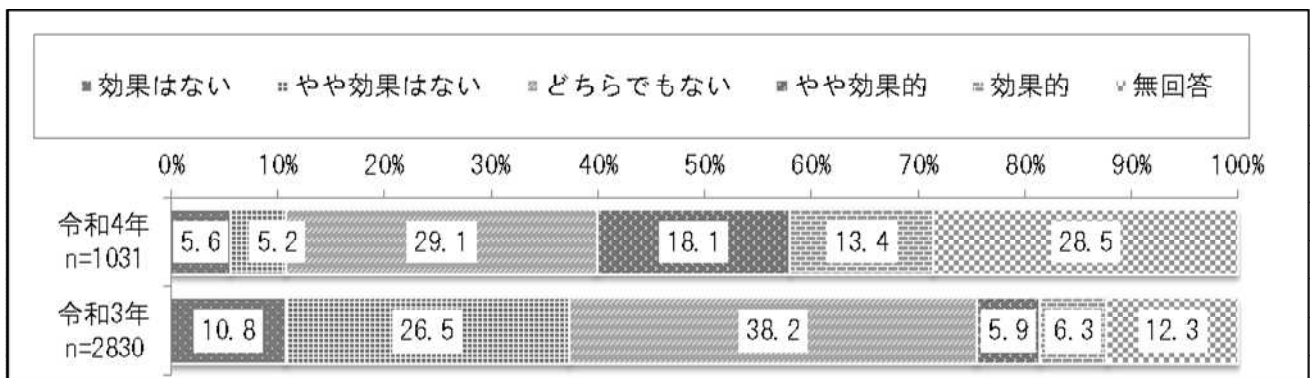
図表80. しまくとぅば語やびら大会（イベント）



④ しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度は、「やや効果的」の割合が令和4年度18.1%で、令和3年度の5.9%より12.2ポイント高い。

図表81. しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

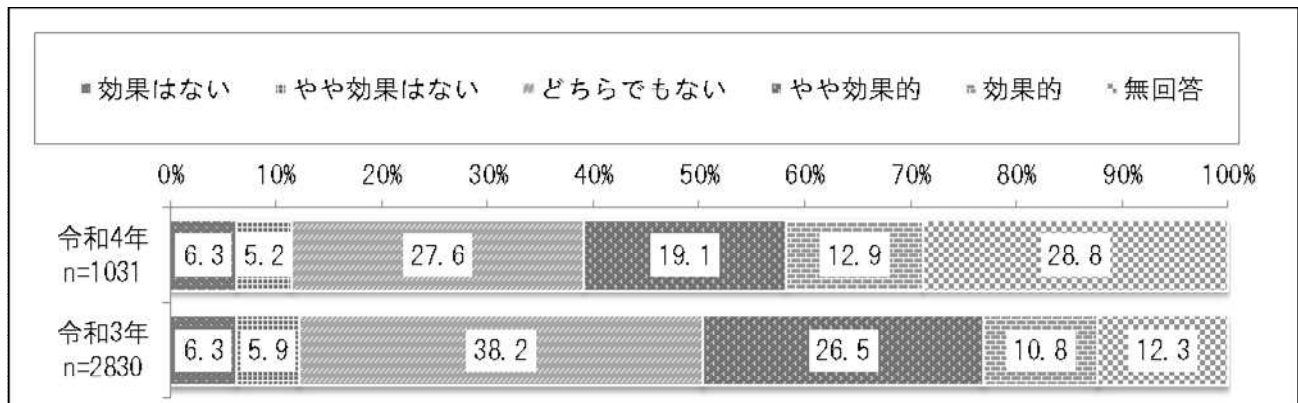


3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

⑤ しまくとうば普及センターの設置

しまくとうば普及センターの設置は、「効果的」の割合が令和4年度12.9%で、令和3年度の10.8%より2.1ポイント高い。

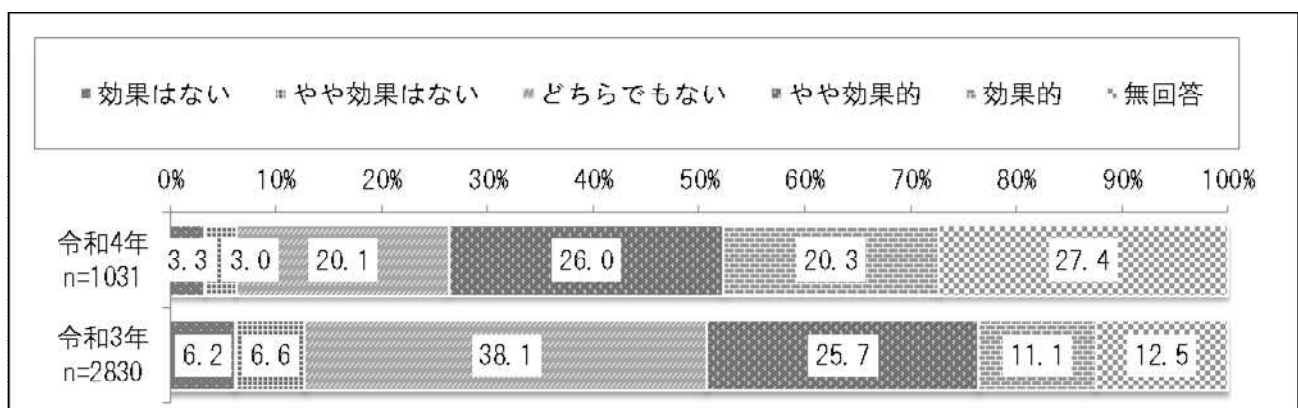
図表82. しまくとうば普及センターの設置



⑥ しまくとうば講師養成講座

しまくとうば講師養成講座は、「効果的」の割合が令和4年度20.3%で、令和3年度の11.1%より9.2ポイント高い。

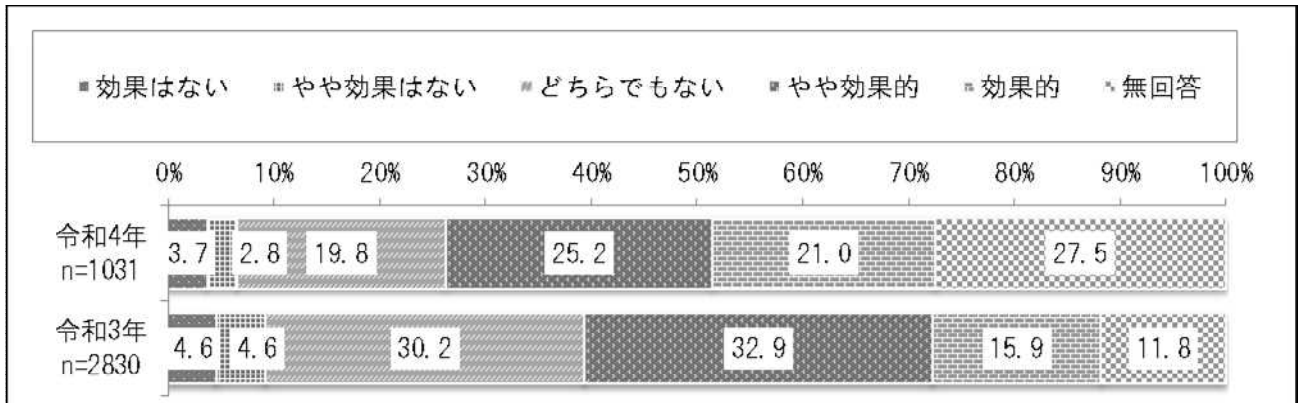
図表83. しまくとうば講師養成講座



⑦ しまくとぅば講師の派遣

しまくとぅば講師の派遣は、「効果的」の割合が令和4年度21.0%で、令和3年度の15.9%より5.1ポイント高い。

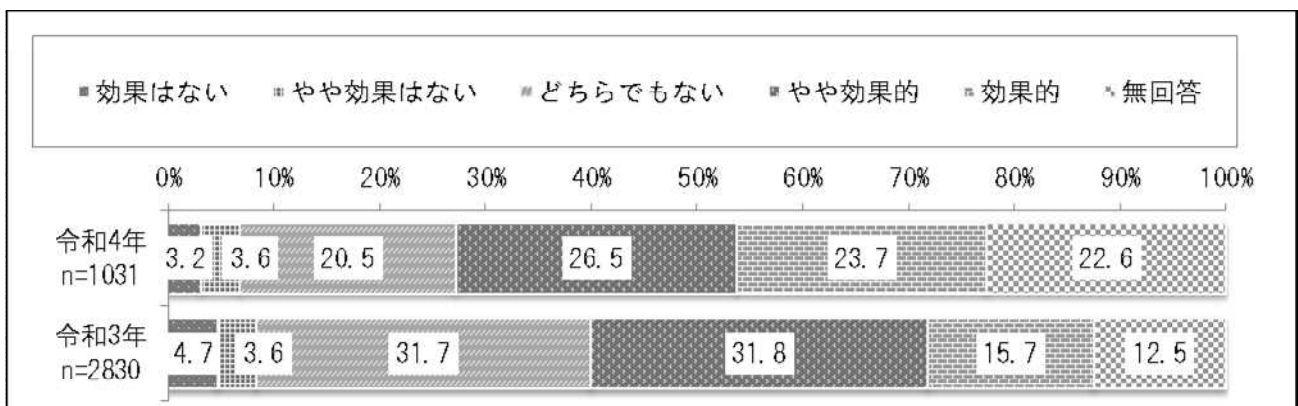
図表84. しまくとぅば講師の派遣



⑧ しまくとぅば検定

しまくとぅば検定は、「効果的」の割合が令和4年度23.7%で、令和3年度の15.7%より8.0ポイント高い。

図表85. しまくとぅば検定

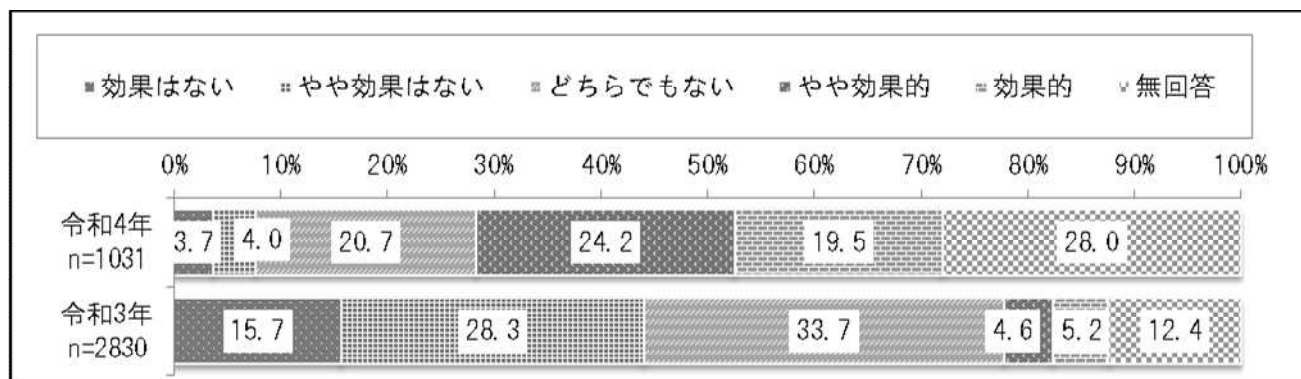


3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

⑨ 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)

「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)は、「やや効果的」の割合が令和4年度24.2%で、令和3年度の4.6%より19.6ポイント高い。

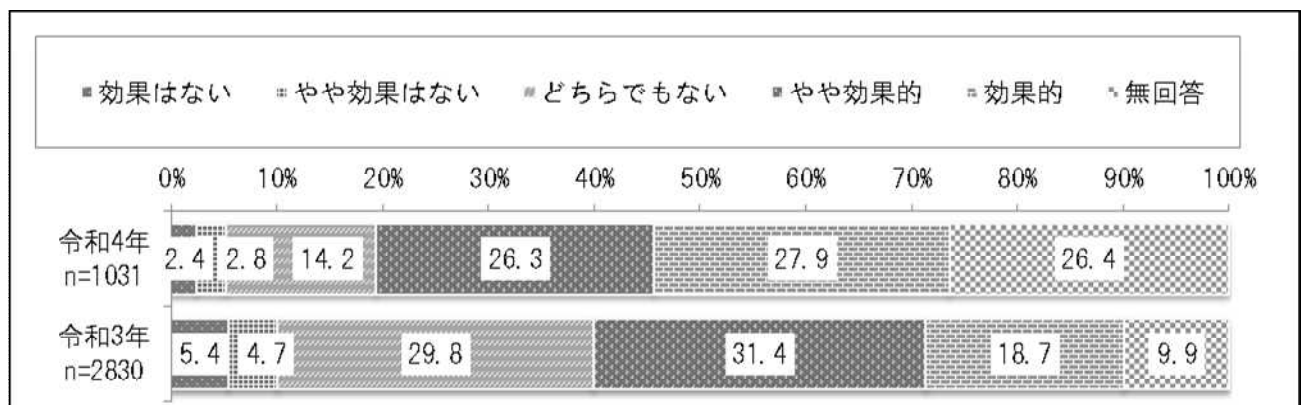
図表86. 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)



⑩ しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布は、「効果的」の割合が令和4年度27.9%で、令和3年度の18.7%より9.2ポイント高い。

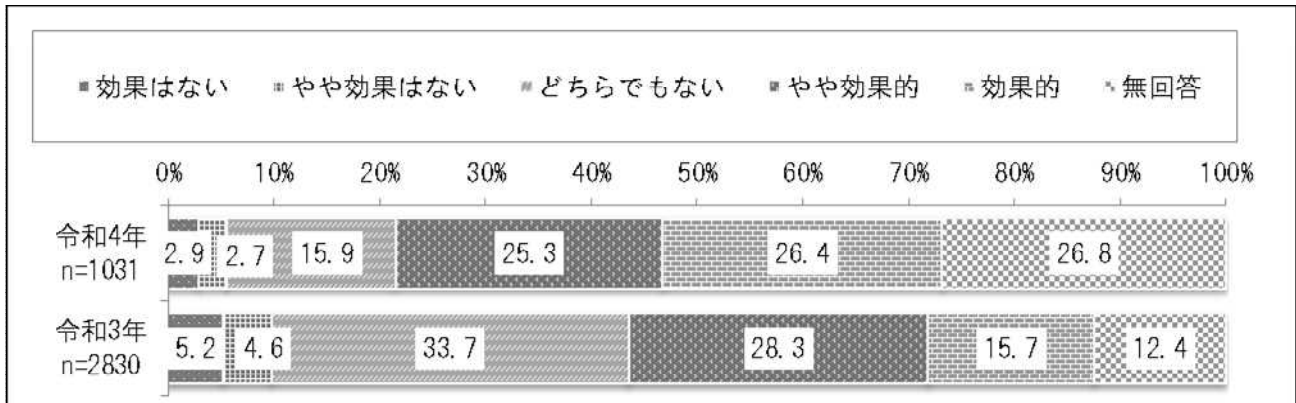
図表87. しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布



⑪ しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布は、「効果的」の割合が令和4年度 26.4%で、令和3年度の 15.7%より 10.7ポイント高い。

図表88. しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

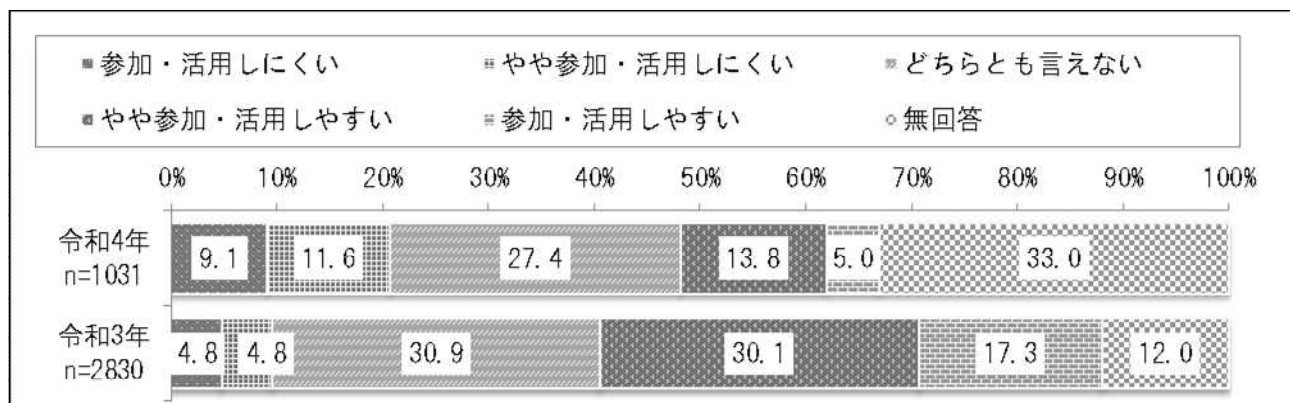


[2] 問 17. 取組みの参加・活用のしやすさ

① しまくとぅば県民大会（イベント）

しまくとぅば県民大会（イベント）は、「やや参加・活用しやすい」の割合が令和4年度13.8%で、令和3年度の30.1%より16.3ポイント低い。

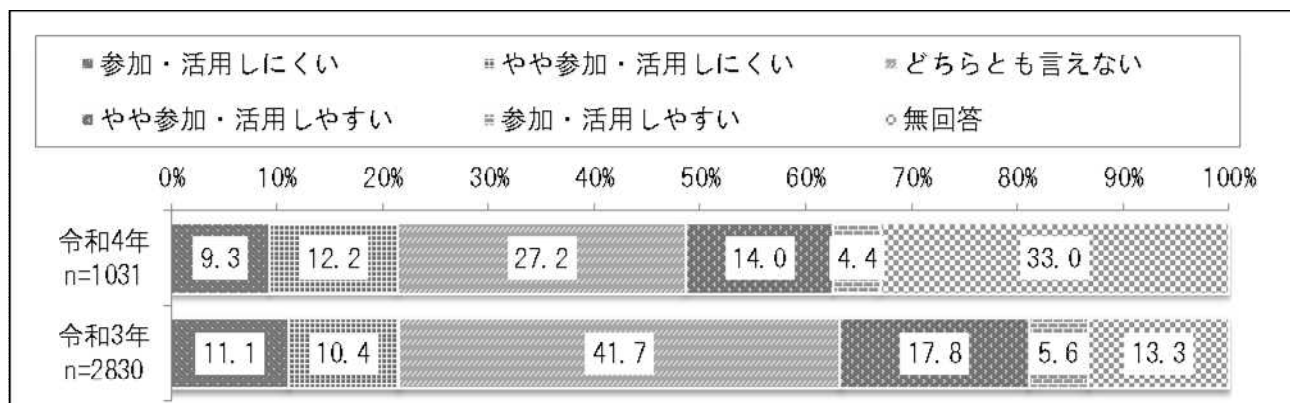
図表89. しまくとぅば県民大会（イベント）



② しまくとぅば語やびら大会（イベント）

しまくとぅば語やびら大会（イベント）は、「やや参加・活用しやすい」の割合が令和4年度14.0%で、令和3年度の17.8%より3.8ポイント低い。

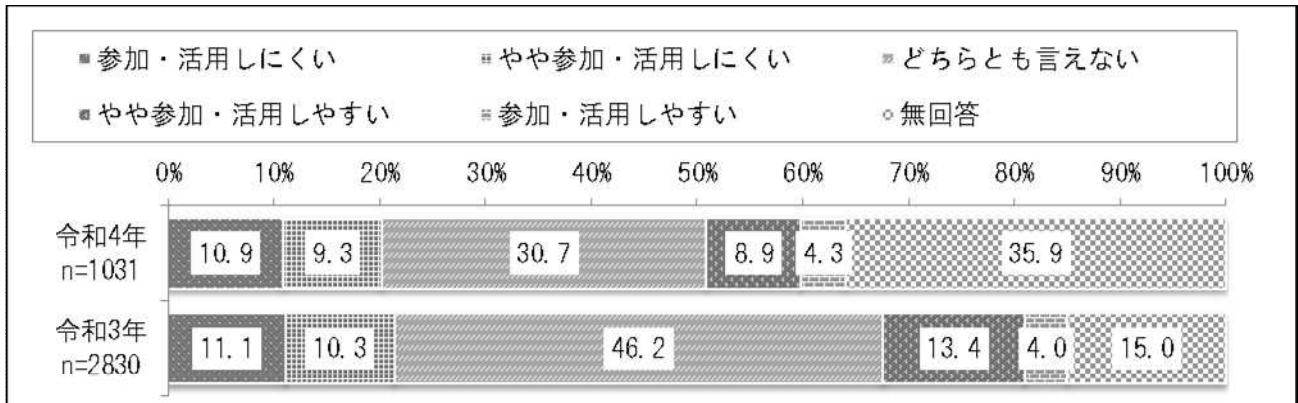
図表90. しまくとぅば語やびら大会（イベント）



③ しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度

しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度4.3%で、令和3年度の4.0%より0.3ポイント高い。

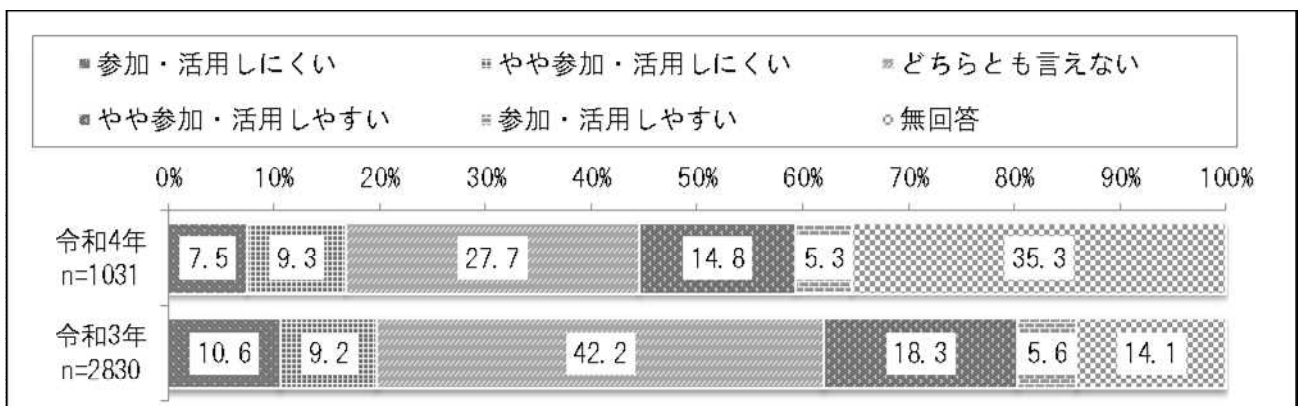
図表91. しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度



④ しまくとぅば講師養成講座

しまくとぅば講師養成講座は、「やや参加・活用しやすい」の割合が令和4年度14.8%で、令和3年度の18.3%より3.5ポイント低い。

図表92. しまくとぅば講師養成講座

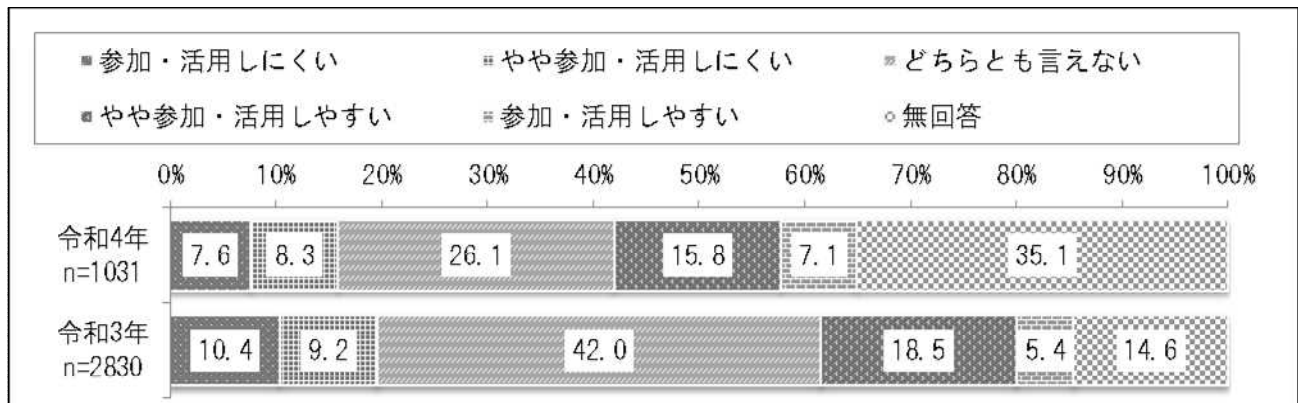


3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

⑤ しまくとうば講師の派遣

しまくとうば講師の派遣は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度7.1%で、令和3年度の5.4%より1.7ポイント高い。

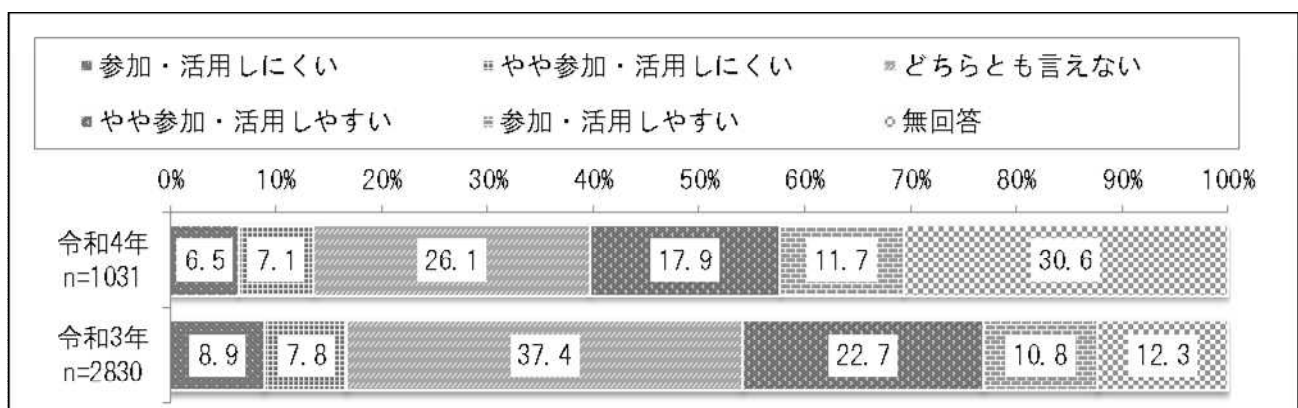
図表93. しまくとうば講師の派遣



⑥ しまくとうば検定

しまくとうば検定は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度11.7%で、令和3年度の10.8%より0.9ポイント高い。

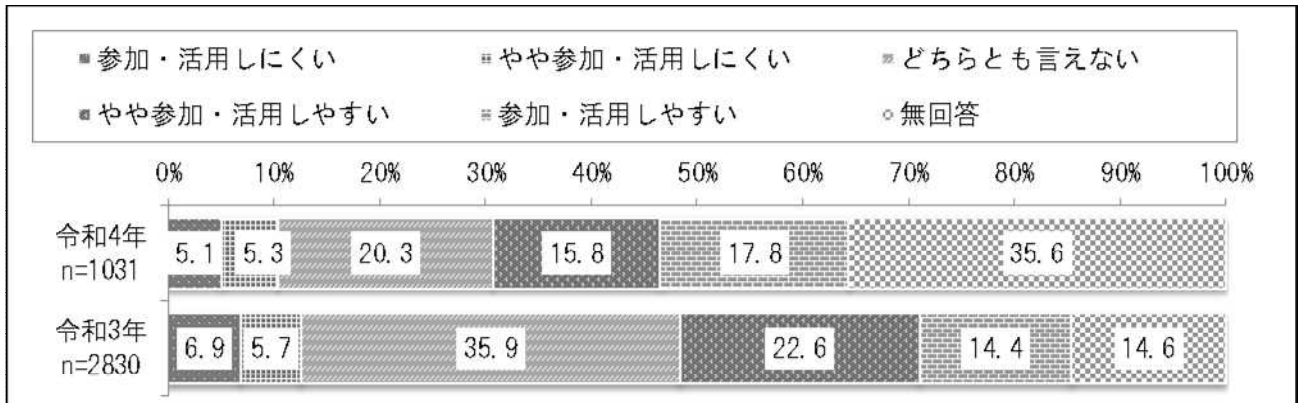
図表94. しまくとうば検定



⑦ 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)

「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度17.8%で、令和3年度の14.4%より3.4ポイント高い。

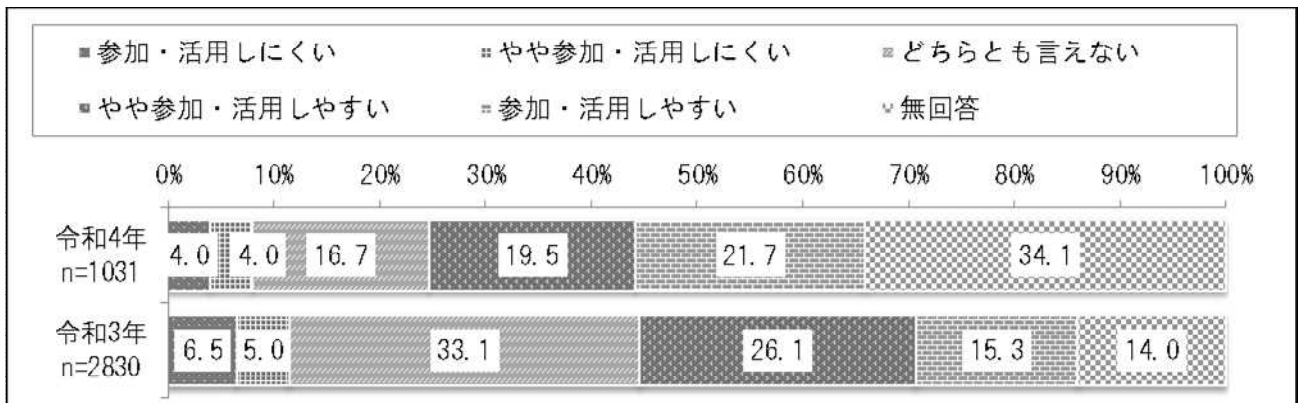
図表95. 「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)



⑧ しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度21.7%で、令和3年度15.3%より6.4ポイント高い。

図表96. しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布

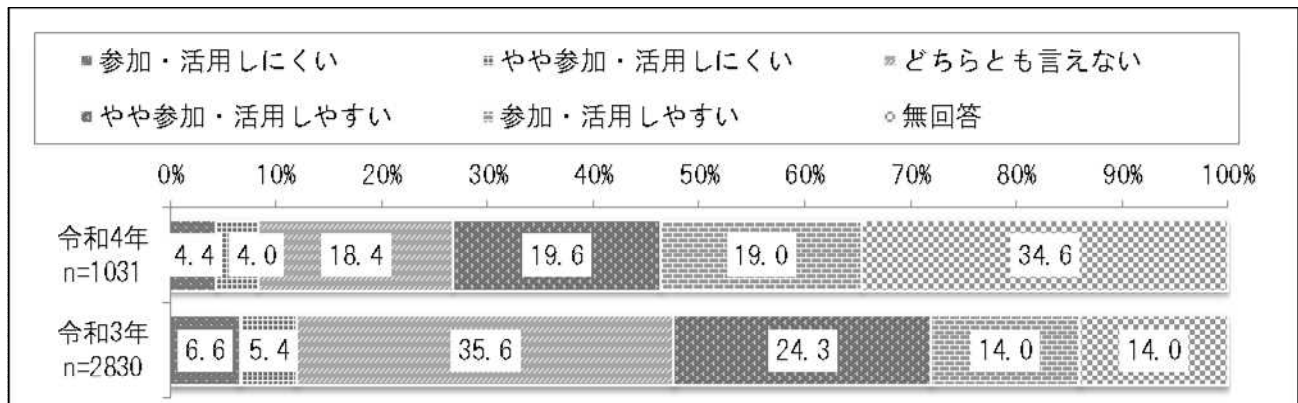


3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

⑨ しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度19.0%で、令和3年度の14.0%より5.0ポイント高い。

図表97. しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布

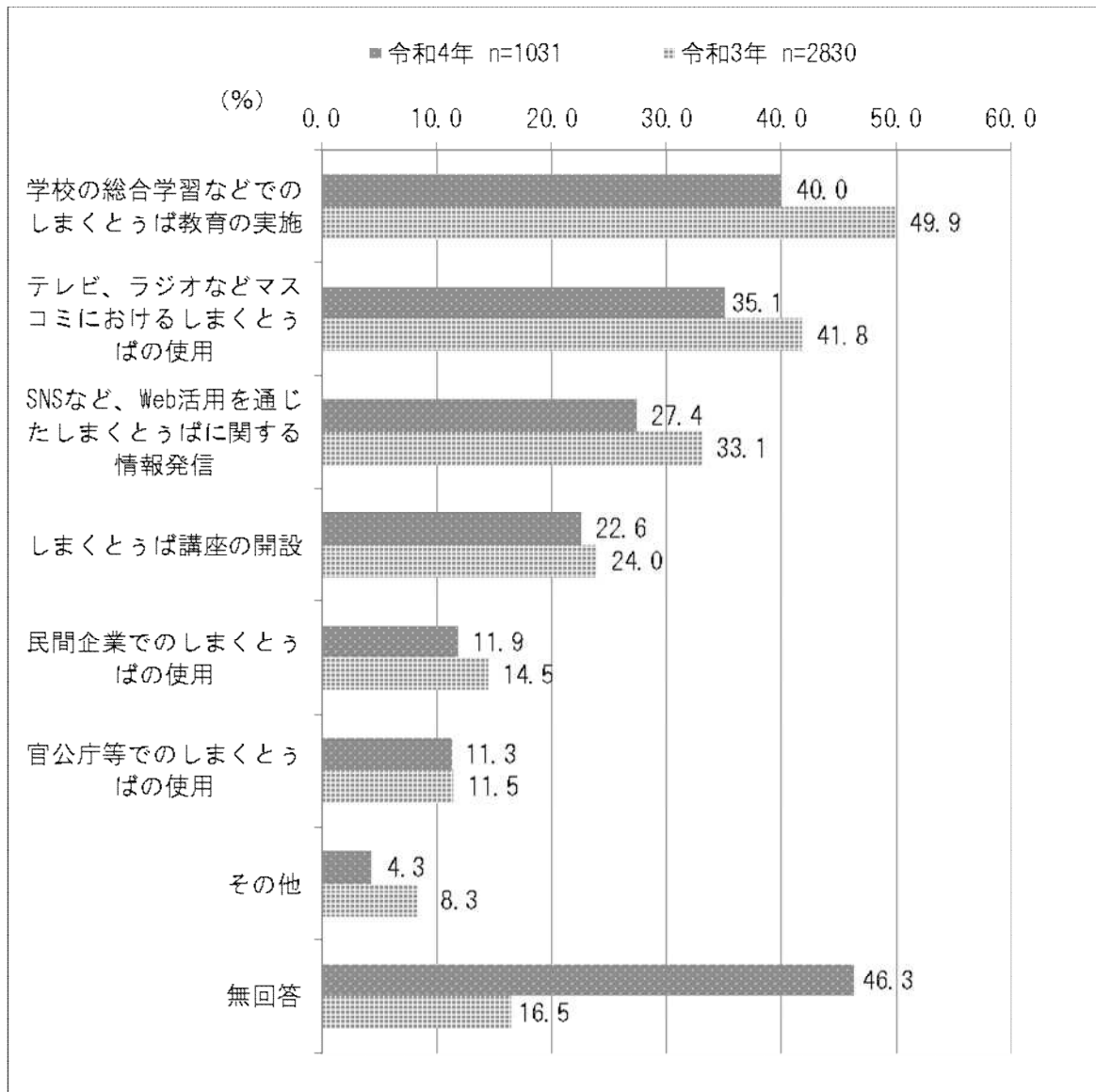


(15) 問 18. 今後、普及継承の取組について「すべきと思うもの」をお答えください。

(○はいくつでも)

普及継承・各取組については、「学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実践」の割合が令和4年度40.0%で、令和3年度の49.9%より9.9ポイント低い。

図表98. 普及継承・各取組について

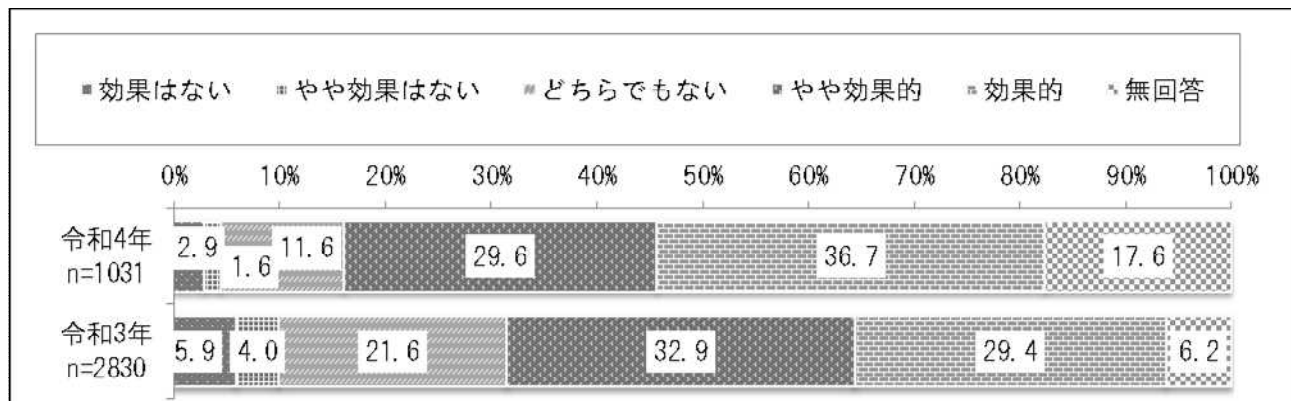


[1] 問 18. 取組みの効果度

① 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施

学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施は、「効果的」の割合が令和4年度 36.7%で、令和3年度の 29.4%より 7.3 ポイント高い。

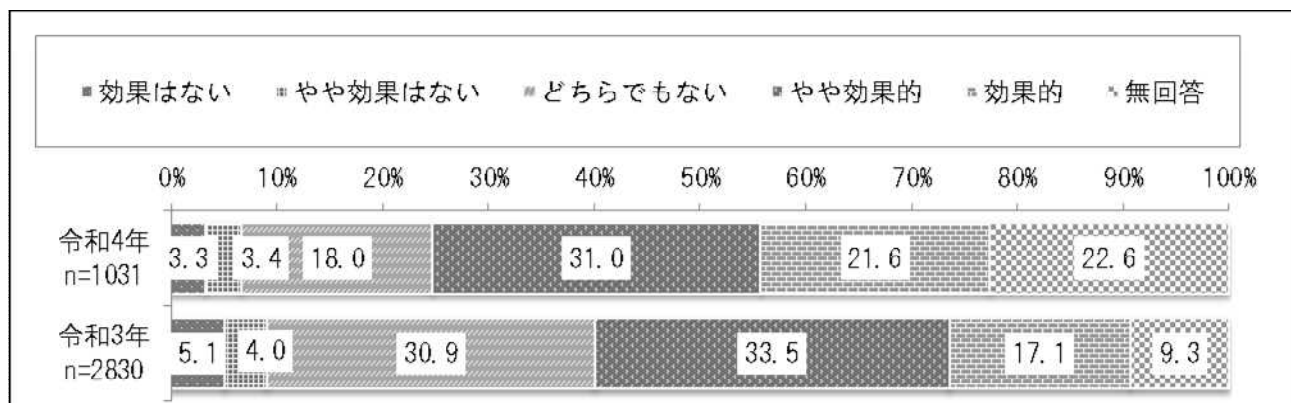
図表99. 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施



② しまくとうば講座の開設

効果度_しまくとうば講座の開設は、「効果的」の割合が令和4年度 21.6%で、令和3年度の 17.1%より 4.5 ポイント高い。

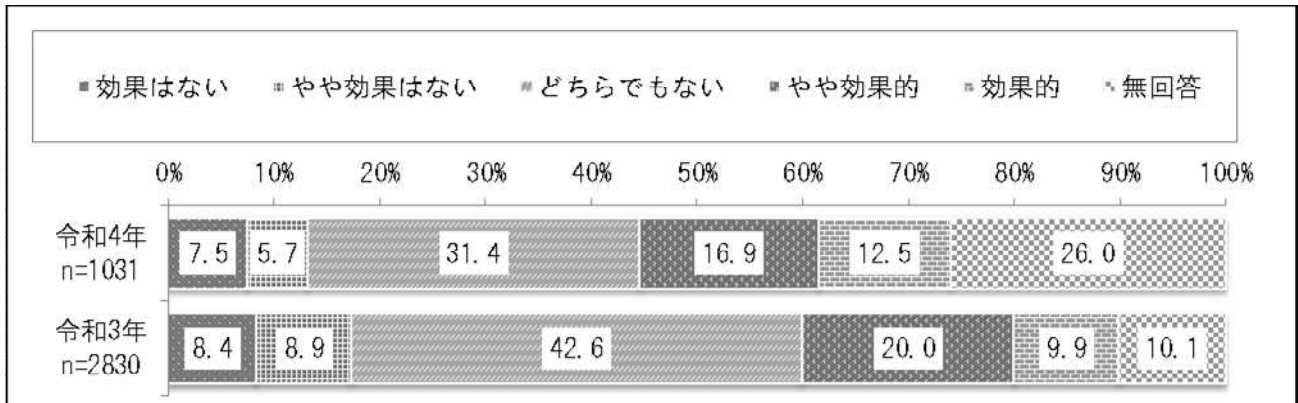
図表100. 効果度_しまくとうば講座の開設



③ 官公庁等でのしまくとぅばの使用

官公庁等でのしまくとぅばの使用は、「効果的」の割合が令和4年度12.5%で、令和3年度の9.9%より2.6ポイント高い。

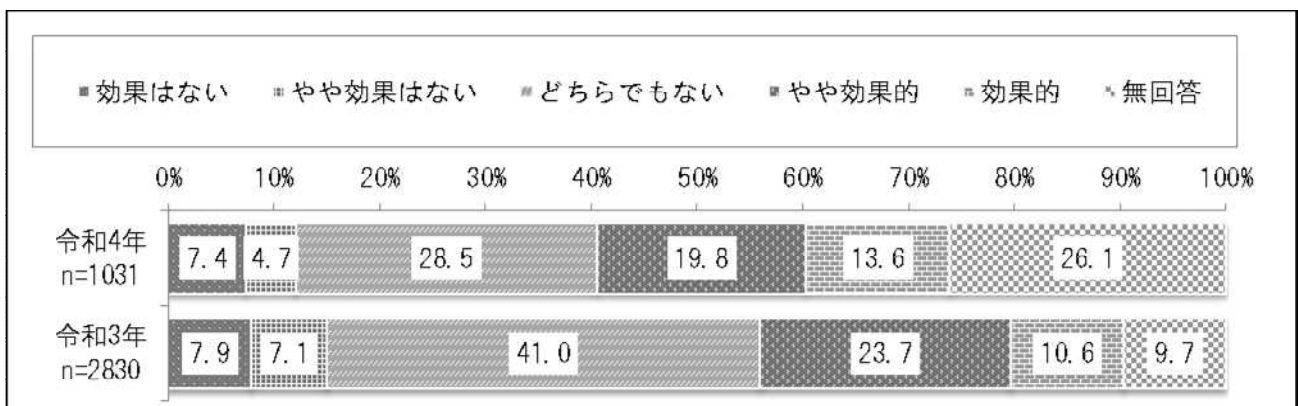
図表101. 官公庁等でのしまくとぅばの使用



④ 民間企業でのしまくとぅばの使用

民間企業でのしまくとぅばの使用は、「効果的」の割合が令和4年度13.6%で、令和3年度の10.6%より3.0ポイント高い。

図表102. 民間企業でのしまくとぅばの使用

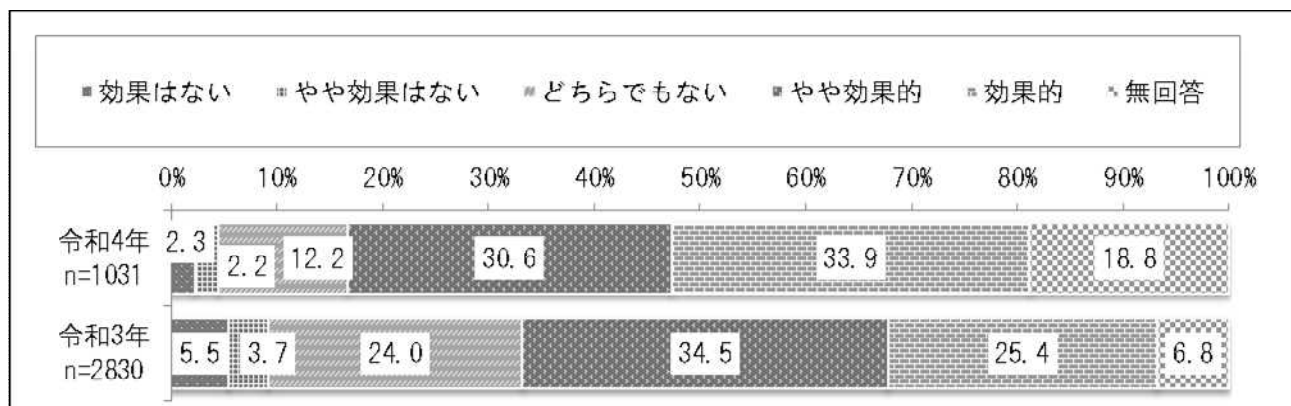


3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

⑤ テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用

テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用は、「効果的」の割合が令和4年度33.9%で、令和3年度の25.4%より8.5ポイント高い。

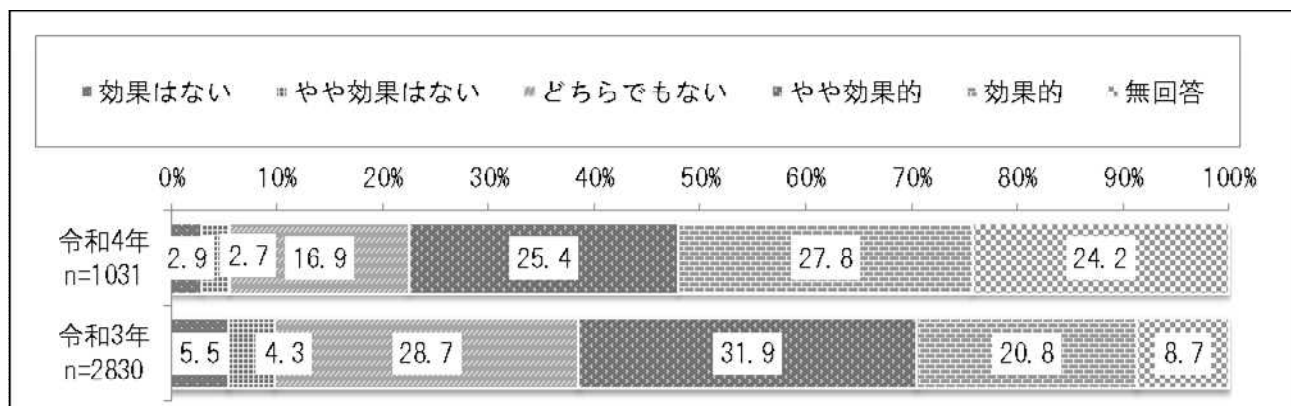
図表103. テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用



⑥ SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信

SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信は、「効果的」の割合が令和4年度27.8%で、令和3年度の20.8%より7.0ポイント高い。

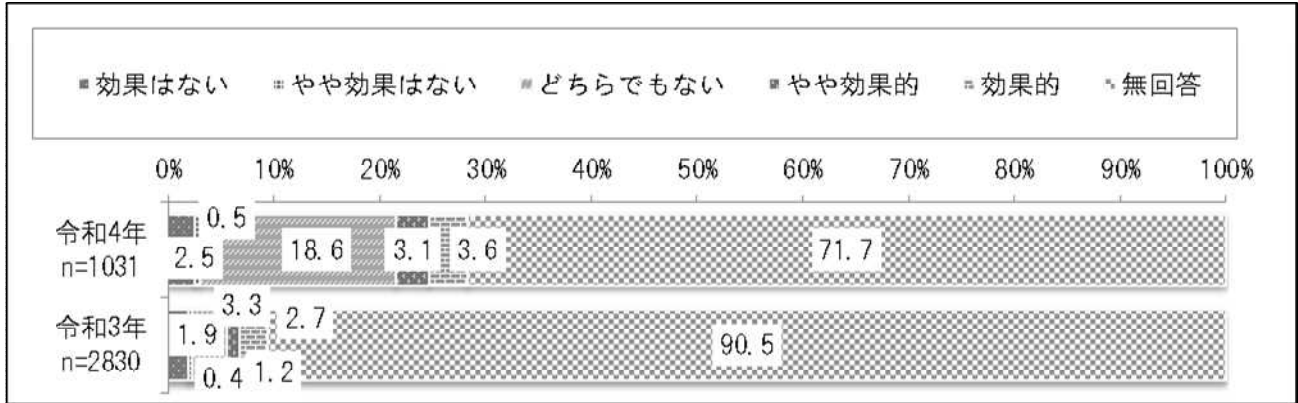
図表104. SNSなど、Web活用を通じたしまくとうばに関する情報発信



⑦ その他

その他は、「効果的」の割合が令和4年度3.6%で、令和3年度の2.7%より0.9ポイント高い。

図表105. その他

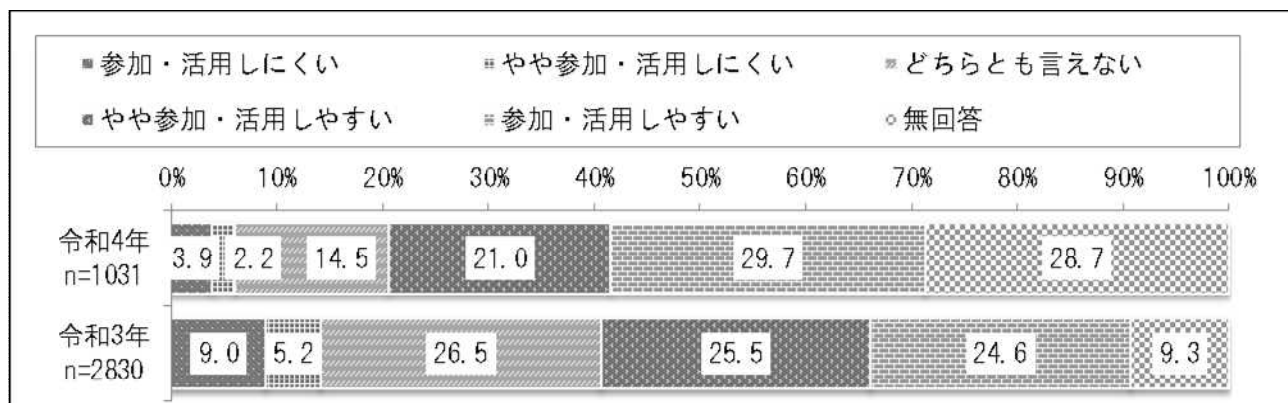


[2] 問 18. 取組みの参加・活用のしやすさ

① 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施

学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度 29.7%で、令和3年度の 24.6%より 5.1 ポイント高い。

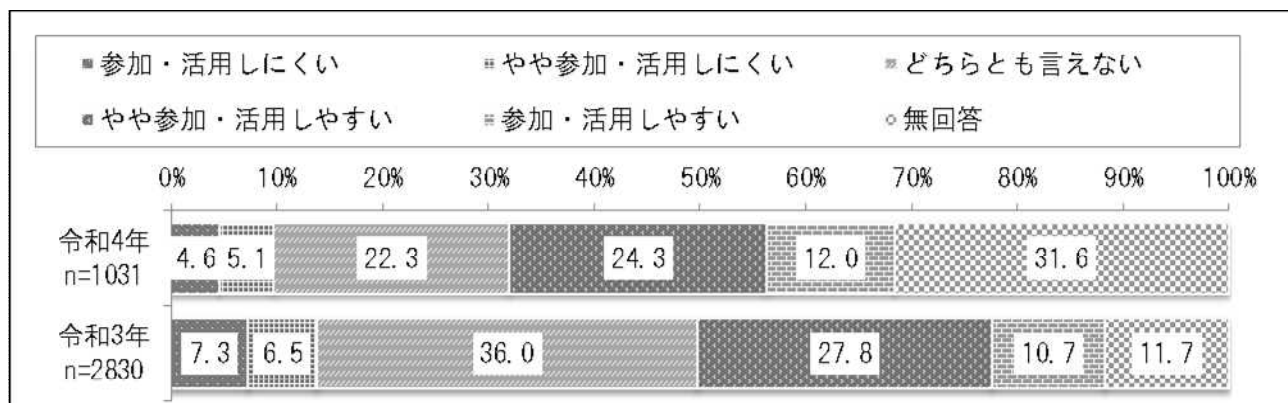
図表106. 学校の総合学習などでのしまくとうば教育の実施



② しまくとうば講座の開設

しまくとうば講座の開設は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度 12.0%で、令和3年度の 10.7%より 1.3 ポイント高い。

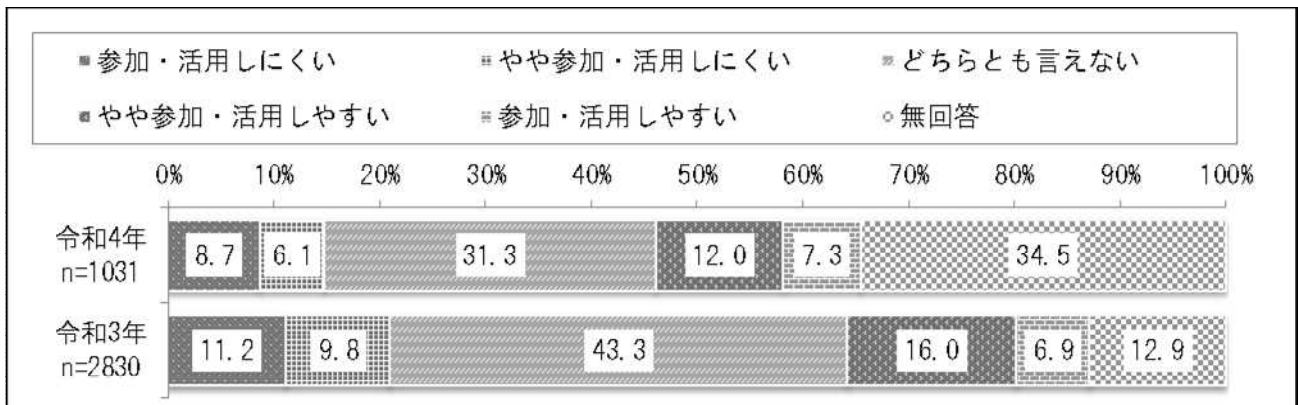
図表107. しまくとうば講座の開設



③ 官公庁等でのしまくとぅばの使用

官公庁等でのしまくとぅばの使用は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度7.3%で、令和3年度の6.9%より0.4ポイント高い。

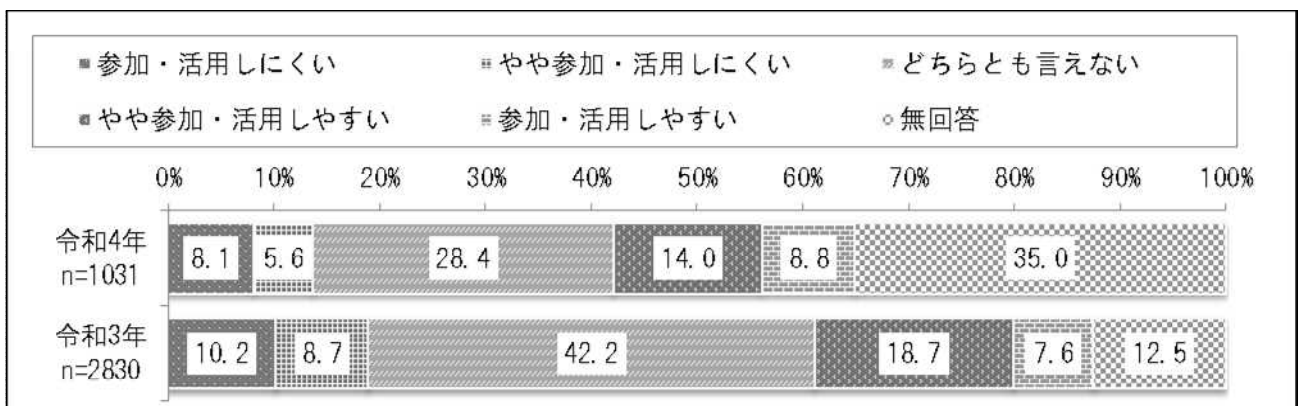
図表108. 官公庁等でのしまくとぅばの使用



④ 民間企業でのしまくとぅばの使用

民間企業でのしまくとぅばの使用は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度8.8%で、令和3年度の7.6%より1.2ポイント高い。

図表109. 民間企業でのしまくとぅばの使用

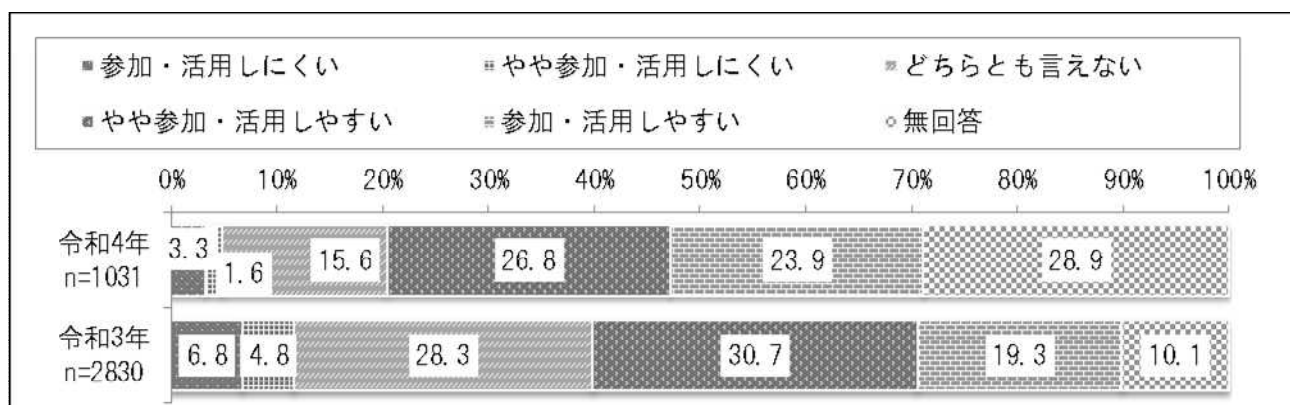


3. 令和3年・令和4年調査結果の比較

⑤ テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用

テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度 23.9%で、令和3年度の 19.3%より 4.6 ポイント高い。

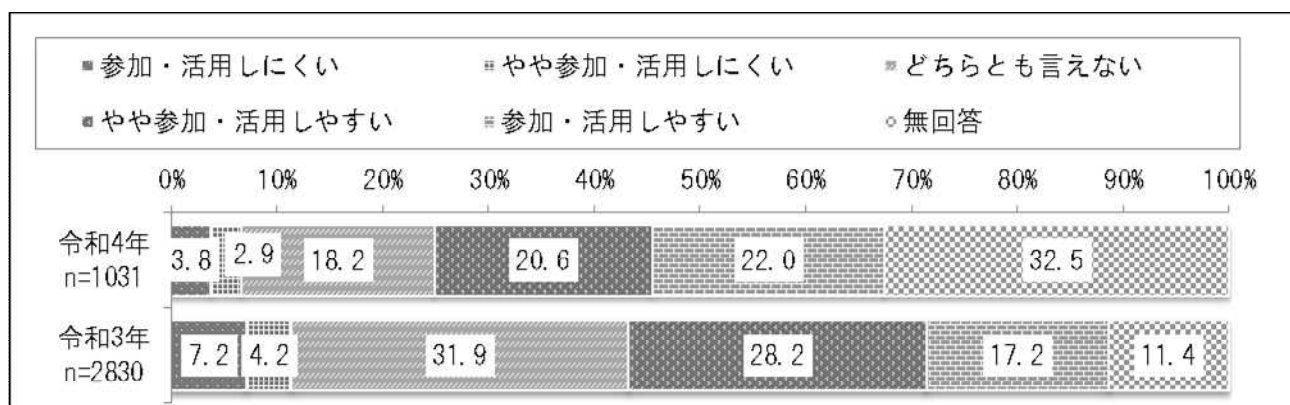
図表110. テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとうばの使用



⑥ SNS など、Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信

SNS など、Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度 22.0%で、令和3年度の 17.2%より 4.8 ポイント高い。

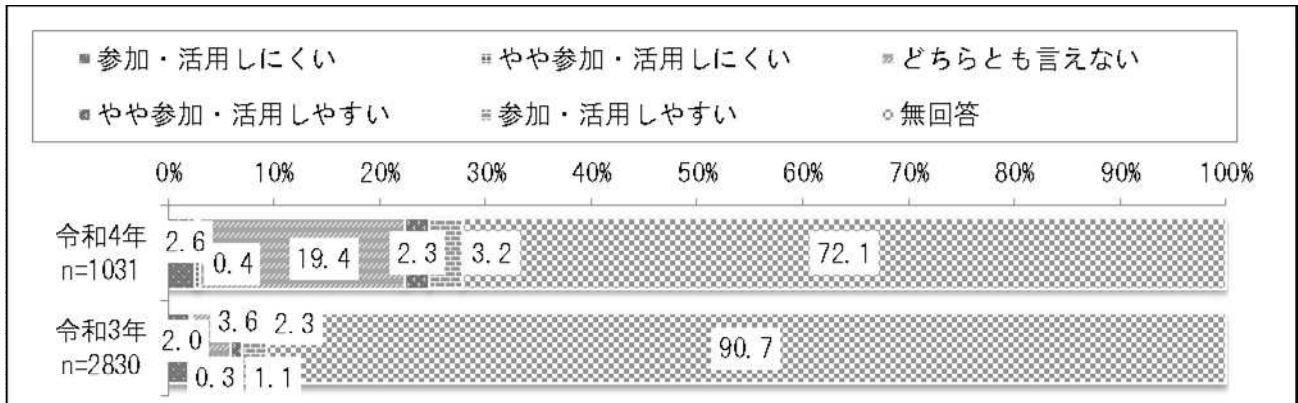
図表111. SNS など、Web 活用を通じたしまくとうばに関する情報発信



⑦ その他

その他は、「参加・活用しやすい」の割合が令和4年度 3.2%で、令和3年度の 2.3%より 0.9ポイント高い。

図表112. その他



4. 参考資料



しまくとぅばに関するアンケート ご協力をお願い

沖縄県では、平成 25 年度に策定した『「しまくとぅば」普及推進計画』に基づき、全県的かつ横断的な県民運動を行うことにより、しまくとぅばの普及・継承に取り組んでおります。

この調査は、沖縄文化の基層となる大切な「しまくとぅば」に対する県民意識の調査を行うことで、その実態を把握し、今後の「しまくとぅば」の普及継承に向けた課題と効果的な施策の検討に資することを目的に実施しております。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力お願い申し上げます。

※本調査は、住民基本台帳から無作為に選ばれた方にお送りしております。

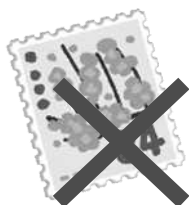
※回答にご協力頂いた方には、抽選で 150 名にポケット版おきなわ手帳を進呈いたします。

令和 5 年 1 月

沖縄県文化観光スポーツ部文化振興課

— アンケートの回答方法 —

① 郵送の場合



調査票は三つ折りにし、同封の返信封筒にてポスト投函ください。
(切手不要)

投函〆切

2/19 (日)



② インターネット/スマホの場合

下記の URL もしくは QR コードで、アクセスしてください。

【<https://jp.surveymonkey.com/r/shimakutoba>】

番号：



WEB回答〆切

2/19 (日)



<アンケート調査内容に関する問い合わせ先>

【協力事業者】 株式会社サーベイリサーチセンター沖縄事務所
沖縄県那覇市久茂地 3-21-1 國場ビル 9 階

フリーコール：0800-888-5585 (平日 10~17 時)

F1. あなたご自身のことをお知らせください。(〇はそれぞれ1つ)

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 10代	2. 20代	3. 30代	
	4. 40代	5. 50代	6. 60代	
	7. 70歳以上			
子供の有無	1. いる	2. いない		
出身地	1. 沖縄県内		2. 沖縄県外	
居住地	1. 那覇市	2. 宜野湾市	3. 石垣市	4. 浦添市
	5. 名護市	6. 糸満市	7. 沖縄市	8. 豊見城市
	9. うるま市	10. 宮古島市	11. 南城市	12. 国頭村
	13. 大宜味村	14. 東村	15. 今帰仁村	16. 本部町
	17. 恩納村	18. 宜野座村	19. 金武町	20. 伊江村
	21. 読谷村	22. 嘉手納町	23. 北谷町	24. 北中城村
	25. 中城村	26. 西原町	27. 与那原町	28. 南風原町
	29. 渡嘉敷村	30. 座間味村	31. 粟国村	32. 渡名喜村
	33. 南大東村	34. 北大東村	35. 伊平屋村	36. 伊是名村
	37. 久米島町	38. 八重瀬町	39. 多良間村	40. 竹富町
	41. 与那国町			

「しまくとぅば」は、県内各地域で世代を超えて受け継がれてきた、地域それぞれで異なり、地域の伝統行事や組踊、琉球舞踊、島唄等の文化の基層となる大切な言葉の総称です。

問1. あなたは「しまくとぅば」に親しみを持っていますか。(〇はひとつ)

1. 親しみを持っている	2. どちらかといえば親しみを持っている
3. どちらかといえば親しみを持っていない	4. 親しみを持っていない
5. わからない	

問2. あなたは「しまくとぅば」にどのようなイメージを持っていますか。(〇はそれぞれひとつ)

	1 非常に	2 やや	3 どちらでも ない	4 やや	5 非常に	
←—————→						

(例)「非常にやわらかい」というイメージの場合

やわらかい	①	2	3	4	5	硬い
-------	---	---	---	---	---	----

やわらかい	1	2	3	4	5	硬い
明るい	1	2	3	4	5	暗い
丁寧	1	2	3	4	5	乱暴
誇らしい	1	2	3	4	5	恥ずかしい

4. 参考資料

豪快	1	2	3	4	5	繊細
さわやか	1	2	3	4	5	うっとうしい
カッコいい	1	2	3	4	5	カッコ悪い
面白い	1	2	3	4	5	面白くない
身近に感じる	1	2	3	4	5	身近に感じない
感情的	1	2	3	4	5	理論的
田舎っばい	1	2	3	4	5	都会的
明瞭	1	2	3	4	5	不明瞭

問3. あなたは「しまくとぅば」を聞いて、どの程度わかりますか。(〇はひとつ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1. よくわかる | 2. ある程度わかる |
| 3. あまりわからない | 4. 全くわからない |

問4. あなたは人と話すとき「しまくとぅば」を使いますか。(〇はひとつ)

- | | |
|-------------|------------------|
| 1. 主に使う | 2. 「共通語」と同じぐらい使う |
| 3. 挨拶程度使う | 4. あまり使わない |
| 5. まったく使わない | |

<挨拶程度の例>

挨拶：ハイサイ、ハイタイ、ハーイ、クヨーンナーラー、ンサイワルカヤ

その他日常会話での表現：クワッチーサビラ、ウサガミソーレー、チャーガンジュー、チバリヨー

問5. あなたが「しまくとぅば」を使う相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|--------|----------|------------|
| 1. 祖父母 | 2. 父母 | 3. 夫・妻 |
| 4. 兄弟 | 5. 子供 | 6. 友達 |
| 7. 親戚 | 8. 職場の同僚 | 9. その他 () |

問6. あなたはビジネスや公共の場で「しまくとぅば」を使ってもいいと思いますか。(〇はひとつ)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. そう思う →問7へ | 2. ややそう思う →問7へ |
| 3. どちらともいえない →問7へ | |
| 4. あまりそう思わない →問6-1へ | 5. そう思わない →問6-1へ |

(問6で「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答)

問6-1. ビジネスや公共の場で使うべきでない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. ビジネスや公共の場では不適當と思う |
| 2. 相手が理解できないため |
| 3. 出身地や世代が異なりコミュニケーションが円滑にならないため |
| 4. その他 () |

問 7. 普段の生活の中で「しまくとぅば」は必要だと思いますか。(〇はひとつ)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 非常に必要 →問 7-1 へ | 2. ある程度必要 →問 7-1 へ |
| 3. あまり必要でないと思う →問 8 へ | 4. まったく必要ではない →問 8 へ |

(問 7 で「非常に必要」「ある程度必要」と回答)

問 7-1. 生活での必要性について、その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 伝統文化が失われないようにするため | 2. 高齢者とのコミュニケーションのため |
| 3. しまくとぅばにしかないニュアンス(表現)を伝えるため | 4. 親しみを感じるため |
| 5. その他(| |

問 8. あなたは子どもたちに「しまくとぅば」を使えるようになって欲しいですか。(〇はひとつ)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1. 是非、使えるようになって欲しい | 2. できれば、使えるようになって欲しい |
| 3. あまり、使えなくてもよい | 4. まったく、使えなくてもよい |

問 9. 英語や国語、算数・数学などの授業を減らして、学校の授業科目に「しまくとぅば」を加えることをどう思いますか。(〇はひとつ)

- | |
|-----------------------------|
| 1. 他の教科の授業を減らしてでも、是非、加えて欲しい |
| 2. 授業以外の活動で取り組んで欲しい |
| 3. どちらともいえない |
| 4. まったく加えなくてもよい |

問 10. あなたは家庭内で子どもに対して「しまくとぅば」を教えるようにしていますか。

(〇はひとつ)(※お子様がいたら回答した方のみお答え下さい。)

- | |
|---------------------------|
| 1. 積極的に教えている →問 11 へ |
| 2. 時々教えている →問 11 へ |
| 3. ほとんど教えることはない →問 10-1 へ |

(問 10 で「ほとんど教えることはない」と回答)

問 10-1. 家庭内でほとんど教えることはない理由(〇はいくつでも)

- | |
|--------------------------|
| 1. 自分が話せない・使えない |
| 2. 話す機会がない |
| 3. 必要性を感じない |
| 4. 子どもが興味を示さない |
| 5. 学校や地域で学んでいるため教える必要はない |
| 6. その他() |

4. 参考資料

問 11. あなたはご自身が住んでいる地域（市町村）にどの程度愛着や誇りがありますか。（○はひとつ）

- | | |
|----------|---------|
| 1. とてもある | 2. ややある |
| 3. あまりない | 4. ない |

問 12. 沖縄県出身の方にお聞きします。沖縄には地域ごとに様々な「しまくとぅば」があります。あなたはご自身の出身地の「しまくとぅば」を知っていますか。（○はひとつ）

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問 13. 沖縄県出身の方にお聞きします。あなたはご自身の出身地の「しまくとぅば」が将来に渡って残ってほしいと思いますか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. どちらともいえない | |
| 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |

問 14. あなたが「しまくとぅば」に触れる機会（聞く・話す）はどの程度ありますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 毎日触れる機会はある | 2. 週に 2-3 回程度はある |
| 3. 月に 2-3 回程度はある | 4. 年に 10 回程度はある |
| 5. 年に 2-3 回程度はある | 6. 全くない |

問 15. あなたが「しまくとぅば」を聞く機会はどの程度ありますか。（○はひとつ）

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. ある →問 15-1 へ | 2. たまにある →問 15-1 へ |
| 3. あまりない →問 16 へ | 4. ない →問 16 へ |

（問 15 で「ある」「たまにある」と回答）

問 15-1. あなたが「しまくとぅば」を聞く機会はどのような時ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 1. 日常的に聞く | 2. 高齢者とコミュニケーションをはかる時 |
| 3. テレビやラジオ、CM 等 | 4. 組踊や音楽、劇などの鑑賞時 |
| 5. その他（ | ） |

問 16. あなたが「しまくとぅば」を話す機会はどの程度ありますか。（○はひとつ）

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. ある →問 16-1 へ | 2. たまにある →問 16-1 へ |
| 3. あまりない →問 16-2 へ | 4. ない →問 16-2 へ |

（問 16 で「ある」「たまにある」と回答）

問 16-1. あなたは「しまくとぅば」を話す機会はどのような時ですか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 日常的に話す | 2. 高齢者とコミュニケーションをはかる時 |
| 3. 共通語で伝わらないニュアンスを伝える時 | 4. 地元の家族や仲間と集う時 |
| 5. その他（ | ） |

問 16-2. (問 16 で「あまりない」「ない」と回答)

あなたが「しまくとぅば」を話さない理由について教えてください。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1. しまくとぅばを話す機会がない | 2. しまくとぅばを話し(使い)慣れていない |
| 3. 話しても相手に通じない | 4. 共通語でコミュニケーションが十分とれる |
| 5. その他 (|) |

問 17. 以下に挙げるもので、今後、普及継承していくため、各取組を「知っている」ものであてはまるものに〇をつけてください。(〇はいくつでも)

また、「効果的であると思うか」「参加・活用しやすいと思うか」について、5段階でお答えください。(各項目、〇はそれぞれひとつ)

取組内容	知っているものに〇	効果度					参加・活用のしやすさ				
		効果的と思う	やや効果的と思う	どちらとも言えない	やや効果はないと思う	効果はないと思う	参加・活用しやすい	やや参加・活用しやすい	どちらとも言えない	やや参加・活用しにくい	参加・活用しにくい
例：(知っていて、効果的と思うが、やや参加・活用しにくい)	○	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	⇒ 5	4	3	2	1 ⇒
しまくとぅばの日(9月18日)		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	/				
しまくとぅば県民大会(イベント)		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとぅば語やびら大会(イベント)		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとぅば普及推進に取り組む団体等への補助金制度		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとぅば普及センターの設置		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	/				
しまくとぅば講師養成講座		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとぅば講師の派遣		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとぅば検定		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	⇒ 5	4	3	2	1
「使ってみよう しまくとぅばナビ」(インターネットサイト)		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとぅば普及ツール(一般用・50音表、カレンダー等)の作成と配布		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	⇒ 5	4	3	2	1
しまくとぅば普及ツール(教育用・読本、単語帳等)の作成と配布		⇒ 5	4	3	2	1 ⇒	⇒ 5	4	3	2	1

4. 参考資料

問 18. 以下に挙げるもので、今後、普及継承していくため、各取組について「すべきと思うもの」あてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)

また、「効果的であると思うか」「参加・活用しやすいと思うか」について、5段階でお答えください。

(各項目、○はそれぞれひとつ)

取組内容	すべきと思うものに○	効果度					参加・活用のしやすさ				
		効果的と思う	やや効果的と思う	どちらとも言えない	やや効果はないと思う	効果はないと思う	参加・活用しやすい	やや参加・活用しやすい	どちらとも言えない	やや参加・活用しにくい	参加・活用しにくい
例：(すべきと思い、やや効果的で、参加・活用しやすい)	○	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
学校の総合学習などでのしまくとぅば教育の実施		⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
しまくとぅば講座の開設		⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
官公庁等でのしまくとぅば使用		⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
民間企業でのしまくとぅば使用		⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
テレビ、ラジオなどマスコミにおけるしまくとぅば使用		⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
SNSなど、Web活用を通じたしまくとぅばに関する情報発信		⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1
その他 ※ご意見があれば、自由にお書き下さい。 []		⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1	⇒ 5	⇒ 4	⇒ 3	⇒ 2	⇒ 1

問 19. 沖縄の固有の「しまくとぅば」を普及継承していくために、ご意見ご感想をお聞かせ下さい。

【謝礼のご要望】

回答にご協力頂いた方には、抽選で 150 名にポケット版おきなわ手帳を進呈いたします。
謝礼の抽選応募をご希望の方は、以下のいずれかにチェックを入れてください。

おきなわ手帳（2023 年版）希望

希望しない

2 種類のうちのどちらか好きな仕様にチェックを入れてください。

沖縄リゾートダイアリー
(リバーシブルタイプ)



うりずん手帳



アンケートに答えて
手帳を当てよう！



住所宛先： 〒 _____

ご氏名： _____

※抽選でのご提供となりますので、ご了承ください。

※「謝礼のご要望」にチェックがない場合は、謝礼をご希望されないものとして、取り扱わせていただきます。

※好きな仕様にチェックがない場合は、どちらか一方をお送りいたします。ご希望に添えないこともありますのでご了承ください。

【個人情報の取り扱い】

本調査で使用する個人情報は、本調査委託会社である株式会社サーベイリサーチセンターにて「個人情報保護方針」に則り厳重に管理し、本調査の依頼、回収、謝礼等のみで使用させて頂き、収集した個人情報を第三者への提供及び他用途での使用はいたしません。

個人情報の取り扱いについてご理解頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

本調査結果は、しまくとぅばの普及継承に係る施策の検討にあたり、参考とさせていただきます。
調査へのご協力ありがとうございました。